

る一方で、両者が補完的に複合する場合もあり、このあり方が移動範囲と移動経路に関わる可能性がある。

④黒曜石の原産地と地域性について

房総半島を分水界によって地域区分し、各地区から出土した尖頭器がどこの原産地に由来する黒曜石であるかを集計した。各地域の目安は、A地域が印旛沼周辺地域、B地域は東京湾岸地域、C地域は房総半島東部の太平洋側である。第12表の最上段は尖頭器全体と原産地との関係を示しており、これを標準値1とした。また、最右列は地域別の割合を示しており、これを標準値2とした。次に、各地域ごとの数値と標準値1・2を比較した結果、次のような地域的偏在性が認められた。A地域には高原山産が多く、星ヶ塔産や小深沢産がやや少ない。B地域には小深沢産が多く、高原山産が少ない。また、麦草峠産と星ヶ塔産も少なめである。C地域には高原山産が多く、麦草峠産、小深沢産が少ない。また、星ヶ塔産も少なめである。

従って、時期差の問題が残るものの、地域別に黒曜石の利用状況をみると、印旛沼周辺及び房総半島東部では高原山産黒曜石が、東京湾沿岸では信州産黒曜石の利用頻度が高かったと考えられる。

ところで、遺跡の分布を詳細にみると（第15図）、尖頭器の出土遺跡は分水界周辺に集中することがわかる。特に、A地域とB地域とを画する分水界を中心とした幅5～6kmの帯状の範囲には遺跡が多く分布し、それぞれの様相も多様である。当時の人々が分水界に沿った動きをしていたのか、あるいは河川に沿って移動した終点が分水界なのか、さらなる検討が必要である。

⑤まとめ

房総半島出土の黒曜石製尖頭器を自然科学的手法により分析した結果、高原山産と信州産が半々ずつで拮抗し、畑宿産と神津島産は極めて少ないことがわかった。また、1遺跡での内訳は、単一の原産地によるものと複数の原産地によるものが見られた。

尖頭器の類型や属性と黒曜石原産地との関係は、緩やかではあるが相関関係が認められた。反面、各類型とも各原産地の黒曜石を用いており、類型と原産地とが緊密に対応するわけではなかった。このことから、房総半島に分布する尖頭器の多くは、原産地周辺の特定集団によって製作、流布された製品ではないと考えられる。

黒曜石の搬入形態とその製作工程は、①原石ないしは分割礫による素材生産から製品の製作、②半製品ないしは製品の搬入、の両者があり、高原山産と信州産には①と②が、畑宿産と神津島産には②だけが存在する。それぞれは、1遺跡で単独で、あるいは複合しているが、高原山産と信州産の①同士が複合することはない。各原産地が単独で見られる以外は、高原山産①+信州産②、信州産①+高原山産②、高原山産②+信州産②の組み合わせが顕著である。

黒曜石原産地と尖頭器の諸属性、石材の搬入形態などを検討した結果、高原山産黒曜石の入手方法は、移動生活に組み込まれた直接採取が考えられるが、畑宿産や神津島産の入手方法は、事情が異なっていたように思える。つまり、製品ないしは未製品の贈与交換が関与していたのではないだろうか。信州産については高原山産に近い様相ではあるが、半製品や製品の占める割合も高く、複雑な入手方法が想定される。

なお、尖頭器石器群を担った人々の移動範囲やその経路を直ちに推定することは困難であるが、今後の見通しを含めて、房総半島南部と高原山をそれぞれ起点と終点とする、関東東部に偏った長楕円形の範囲、もしくは直線的な範囲を考えたい。

5. おわりに

蛍光X線を用いた黒曜石製石器の原産地推定により、房総半島出土の尖頭器石器群を多角的に検討するための基礎資料を得ることができた。今回は分析資料の集計に終始したが、今後、詳細な考察を行いたい。また、分析結果を基にして、当該石器群の研究が多くの方に進展することを期待する。さらに、石器の動態から移動生活の実態に迫るためには、原産地と房総半島との間に位置する資料を分析することの必要性も痛感した。

最後になりましたが、分析資料の借用と実測図、写真の掲載について、以下の諸機関より御協力を頂きました。記して感謝いたします。

印旛村教育委員会、印旛村歴史民俗資料館、木更津市教育委員会、木更津市立金鈴塚遺物保存館、劬君津郡市文化財センター、劬山武郡市文化財センター、袖ヶ浦市郷土博物館、千葉市教育委員会、劬千葉市文化財調査協会、劬東総文化財センター、富里町教育委員会、流山市立博物館、富津市教育委員会、船橋市郷土資料館、八千代市教育委員会、八千代市立郷土博物館（八千代市歴史民俗資料館）、千葉県立房総風土記の丘

黒曜石原産地推定分析資料実測図出典一覧

第16図 1～31（文献A1994-46）

第17図 32～41（文献A1994-47）、42～50（文献A1998-5）、51～56（文献A1998-25）、57・58（文献A1992-38）

第18図 59・60（文献A1992-38）、61～76（未報告）、77～88（文献A2000-6）

第19図 89～99（文献A2000-6）、100～107（文献A1978-21）、108～120（文献A1991-46）

第20図 121・122（文献A1991-46）、123～127（未報告）、128～151（文献A1996-45）

第21図 152～154（文献A1996-45）、155～171（文献A1989-36）、172～180（文献A1994-51）、181～186（文献A1984-30）

第22図 187・188（文献A1984-30）、189～198（文献A2000-51）、199～220（文献A1985-63）

第23図 221（文献A1989-34）、222～247（文献A1992-54）、248～253（文献A1986-92）、254（文献A1979-25）、255・256（未報告）、257（文献A1995-40）、258（文献A1994-56）、259～264（文献A1986-43）

第24図 265～267（文献A1994-55）、267～272（未報告）、273～277（文献A1989-39）、278～290（文献A1999-27）

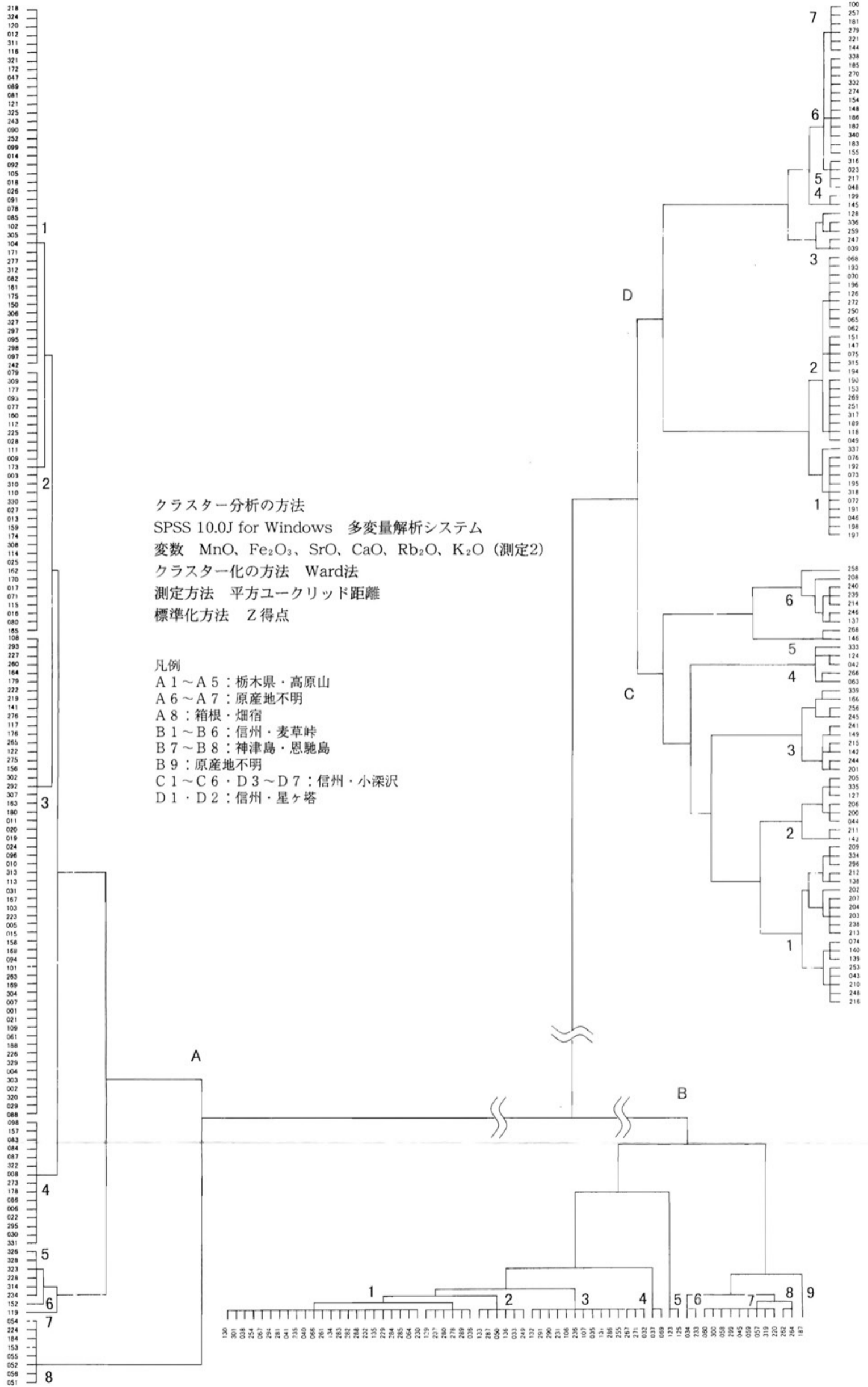
第25図 291～295（文献A1999-27）、296～301（文献A1994-52）、302～308（文献A1998-29）、309・310（文献A1997-34）、311～314（文献A1987-40）、315・316（文献A2000-51）、317（文献A1984-27）

第26図 318・319（文献A1984-27）、320～331（文献A2000-54）、332・333（未報告）、334（文献A1984-70）、335～340（未報告）

第8表 原産地黒曜石の蛍光X線分析

試料番号	測定1-主成分8元素の化学組成(%)								測定2-指標6元素の酸化物を100とした濃度比					
	SiO2	TiO2	Al2O3	Fe2O3	MgO	CaO	Na2O	K2O	MnO	Fe2O3	SrO	CaO	Rb2O	K2O
高原山	75.3	0.5	12.9	2.5	0.1	2.0	3.7	3.1	1.4	56.3	0.72	18.7	0.8	22.0
星ヶ塔	76.2	0.2	13.2	1.1	0.1	0.7	3.7	4.9	3.3	32.1	0.32	7.6	1.4	55.2
小深沢	76.0	0.2	13.2	1.1	0.1	0.8	3.9	4.8	3.5	35.1	0.25	9.2	2.6	49.3
麦草峠	76.3	0.4	12.9	1.3	0.1	1.0	3.8	4.3	1.4	38.8	1.10	13.6	0.9	44.4
男女倉	74.9	0.6	13.4	1.9	0.1	1.0	3.5	4.8	2.2	36.6	0.68	12.2	1.2	47.2
神津島	76.6	0.3	13.1	1.2	0.1	1.0	4.5	3.3	3.2	41.1	0.86	16.5	0.6	37.8
畑宿	74.6	0.7	12.7	3.4	0.1	2.3	4.8	1.3	2.0	69.9	1.40	18.1	0.1	8.4
柏峠	75.6	0.6	12.6	2.7	0.1	2.3	3.7	2.4	1.1	57.9	0.88	24.5	0.2	15.4

(文献B1996-8)



第14図 クラスタ分析による分類結果

第3章 自然科学的手法による分析

試料番号	測定1-主成分8元素の化学組成(%)								測定2-指標6元素の酸化物を100とした濃度比					
	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	MnO	Fe ₂ O ₃	SrO	CaO	Rb ₂ O	K ₂ O
301	76.0	0.8	13.0	1.6	0.1	1.2	2.3	4.2	1.6	43	1.10	13.0	0.86	41.0
302	75.0	0.6	13.0	2.7	0.1	1.8	3.4	3.1	1.2	58	0.85	17.0	0.70	22.0
303	75.0	0.6	13.0	2.7	0.1	1.9	3.3	3.3	1.2	57	0.97	16.0	0.82	24.0
304	75.0	0.7	13.0	3.0	-	2.0	3.3	3.1	1.0	58	0.98	17.0	0.73	22.0
305	74.0	1.1	14.0	3.1	0.1	2.0	2.5	3.2	1.5	63	0.82	18.0	0.69	15.0
306	75.0	0.8	13.0	2.8	-	1.9	3.8	3.0	1.3	59	0.93	15.0	0.78	23.0
307	75.0	0.5	13.0	2.7	0.1	1.9	3.4	3.0	1.3	59	0.92	17.0	0.72	21.0
308	75.0	0.5	13.0	2.7	0.1	1.9	3.3	3.0	1.2	57	0.87	16.0	0.80	24.0
309	75.0	0.5	13.0	2.6	0.1	1.8	3.9	3.1	1.5	56	0.91	17.0	0.88	24.0
310	75.0	0.5	13.0	2.6	0.1	1.7	3.5	3.1	1.4	57	0.91	16.0	0.83	24.0
311	75.0	0.5	13.0	2.7	-	2.0	3.1	3.1	1.2	59	0.87	16.0	0.78	22.0
312	75.0	0.7	13.0	3.0	0.1	2.0	2.8	3.1	1.4	59	1.10	16.0	0.74	22.0
313	76.0	0.5	13.0	2.5	0.1	1.7	3.1	3.0	1.1	55	0.82	17.0	0.74	25.0
314	68.0	1.5	17.0	5.3	-	3.3	0.7	4.4	0.9	53	0.59	13.0	0.42	33.0
315	76.0	0.3	13.0	1.0	-	0.7	3.8	4.8	3.4	33	0.46	7.6	1.40	54.0
316	74.0	0.6	15.0	1.9	-	0.9	2.4	5.1	2.8	43	0.15	9.6	1.70	43.0
317	77.0	0.3	14.0	.9	0.1	0.6	3.1	4.5	3.5	34	0.41	9.5	1.40	52.0
318	76.0	0.3	14.0	1.0	-	0.6	4.0	4.0	3.0	34	0.37	9.1	1.40	52.0
319	77.0	0.4	13.0	1.1	0.1	1.1	4.2	3.1	3.1	42	1.10	19.0	0.71	34.0
320	77.0	0.5	13.0	2.3	0.1	1.7	3.2	2.9	1.2	57	0.89	16.0	0.90	24.0
321	75.0	0.7	14.0	3.2	0.1	2.0	2.8	2.8	1.3	61	0.93	16.0	0.73	20.0
322	74.0	0.8	14.0	3.0	0.1	1.9	3.3	2.8	1.2	64	0.97	14.0	0.63	19.0
323	74.0	0.8	13.0	2.9	-	1.8	1.7	5.1	1.1	52	0.84	14.0	0.55	32.0
324	76.0	0.7	13.0	2.7	-	1.9	3.2	2.8	1.3	59	0.88	16.0	0.75	22.0
325	75.0	0.8	13.0	2.9	-	1.9	3.4	2.9	1.4	60	0.87	16.0	0.84	21.0
326	75.0	0.6	13.0	2.6	0.1	1.9	1.9	4.2	1.3	51	0.78	15.0	0.65	31.0
327	75.0	0.7	13.0	2.8	-	1.9	3.0	3.1	1.4	58	0.93	15.0	0.80	23.0
328	76.0	0.5	13.0	2.3	0.1	1.7	2.9	3.8	1.2	50	0.76	16.0	0.67	31.0
329	76.0	0.5	13.0	2.3	0.1	1.9	3.6	2.8	1.1	59	1.10	17.0	0.87	21.0
330	76.0	0.5	13.0	2.4	0.1	1.6	3.7	2.9	1.3	57	0.92	16.0	0.83	23.0
331	74.0	0.8	13.0	3.2	0.1	1.9	3.9	2.8	1.1	69	0.99	12.0	0.89	16.0
332	77.0	0.2	13.0	1.1	0.1	0.8	3.2	4.7	2.9	37	0.22	9.3	2.10	49.0
333	77.0	0.1	13.0	.8	-	0.6	3.9	4.3	4.7	34	0.05	6.6	3.20	52.0
334	77.0	0.1	13.0	.8	0.1	0.6	3.9	4.4	4.4	34	0.00	6.3	2.90	53.0
335	77.0	0.2	13.0	.9	0.1	0.7	3.9	4.5	4.0	33	0.00	9.9	2.70	50.0
336	76.0	0.3	13.0	1.0	0.1	1.1	3.5	5.1	2.7	32	0.15	15.0	1.80	49.0
337	74.0	0.6	14.0	1.5	0.1	1.0	2.2	7.1	2.0	32	0.12	9.4	1.40	51.0
338	76.0	0.3	13.0	1.1	0.1	1.1	3.2	5.2	3.2	37	0.27	9.5	2.00	48.0
339	77.0	0.2	13.0	1.1	0.1	0.8	3.5	4.6	3.8	36	0.04	7.4	2.50	51.0
340	77.0	0.4	13.0	1.2	0.1	0.9	2.6	4.9	2.3	38	0.28	8.2	1.80	49.0

第10表 房総半島出土尖頭器石器群の黒曜石原産地推定結果(1)

	栃木県・高原山	信州・麦草峠	信州・星ヶ塔	信州・小深沢	箱根・畑宿	神津島・恩馳島	不明	合計
尖頭器	88点 44%	40点 20%	19点 10%	46点 23%	2点 1%	3点 2%	1点 1%	199点 101%
全資料	150点 44%	55点 16%	33点 10%	80点 24%	8点 2%	11点 3%	3点 1%	340点 100%

第11表 房総半島出土尖頭器石器群の黒曜石原産地推定結果(2)

	栃木県・高原山	信州・麦草峠	信州・星ヶ塔	信州・小深沢	箱根・畑宿	神津島・恩馳島	不明	合計
全体	76点 42% 100%	39点 21% 100%	19点 10% 100%	43点 23% 100%	2点 1% 100%	3点 2% 100%	1点 1% 100%	183点 100% 99%
I群	46点 61% (18%)	30点 77% (15%)	7点 37% (11%)	27点 63% (35%)	0点 0% (0%)	1点 33% (0%)	1点 100% (0%)	112点 100% (20%)
Ia	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	1点 5% (1%)	2点 50% (5%)	0点 0% (0%)	1点 33% (0%)	0点 0% (0%)	4点 100% (2%)
Ib	14点 38% (18%)	6点 16% (15%)	2点 5% (11%)	15点 41% (35%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	37点 100% (20%)
Ic	24点 62% (32%)	12点 31% (31%)	1点 3% (5%)	2点 5% (5%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	39点 101% (21%)
Id	8点 25% (11%)	12点 38% (31%)	3点 9% (16%)	8点 25% (19%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	1点 3% (100%)	32点 100% (17%)
II群	19点 25% (20%)	7点 18% (3%)	11点 58% (21%)	13点 30% (23%)	2点 100% (0%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	52点 100% (16%)
Ila	15点 50% (20%)	1点 3% (3%)	4点 13% (21%)	10点 33% (23%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	30点 99% (16%)
Ilb	4点 36% (5%)	4点 36% (10%)	0点 0% (0%)	1点 9% (2%)	2点 18% (100%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	11点 99% (6%)
Ilc	0点 0% (0%)	0点 5% (5%)	4点 25% (21%)	2点 25% (5%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	8点 100% (4%)
Ild	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	3点 100% (16%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	0点 0% (0%)	3点 100% (2%)
不明	11点 58% 14%	2点 11% 5%	1点 5% 5%	3点 16% 7%	0点 0% 0%	2点 11% 67%	0点 0% 0%	19点 101% 10%

第12表 房総半島出土尖頭器石器群の黒曜石原産地推定結果(3)

	栃木県・高原山	信州・麦草峠	信州・星ヶ塔	信州・小深沢	箱根・畑宿	神津島・恩馳島	不明	合計
全城	88点 44% 100%	40点 20% 101%	19点 10% 100%	46点 23% 100%	2点 1% 100%	3点 2% 100%	1点 1% 100%	199点 101% 101%
A地域	50点 57% 57%	16点 18% 40%	5点 6% 26%	14点 16% 30%	0点 0% 0%	2点 2% 67%	0点 0% 0%	87点 99% 44%
B地域	8点 10% 9%	21点 27% 53%	12点 16% 63%	32点 42% 70%	2点 3% 100%	1点 1% 33%	1点 1% 100%	77点 100% 39%
C地域	30点 86% 34%	3点 9% 8%	2点 6% 11%	0点 0% 0%	0点 0% 0%	0点 0% 0%	0点 0% 0%	35点 101% 18%

第13表 房総半島出土尖頭器石器群の黒曜石原産地推定結果 (4)

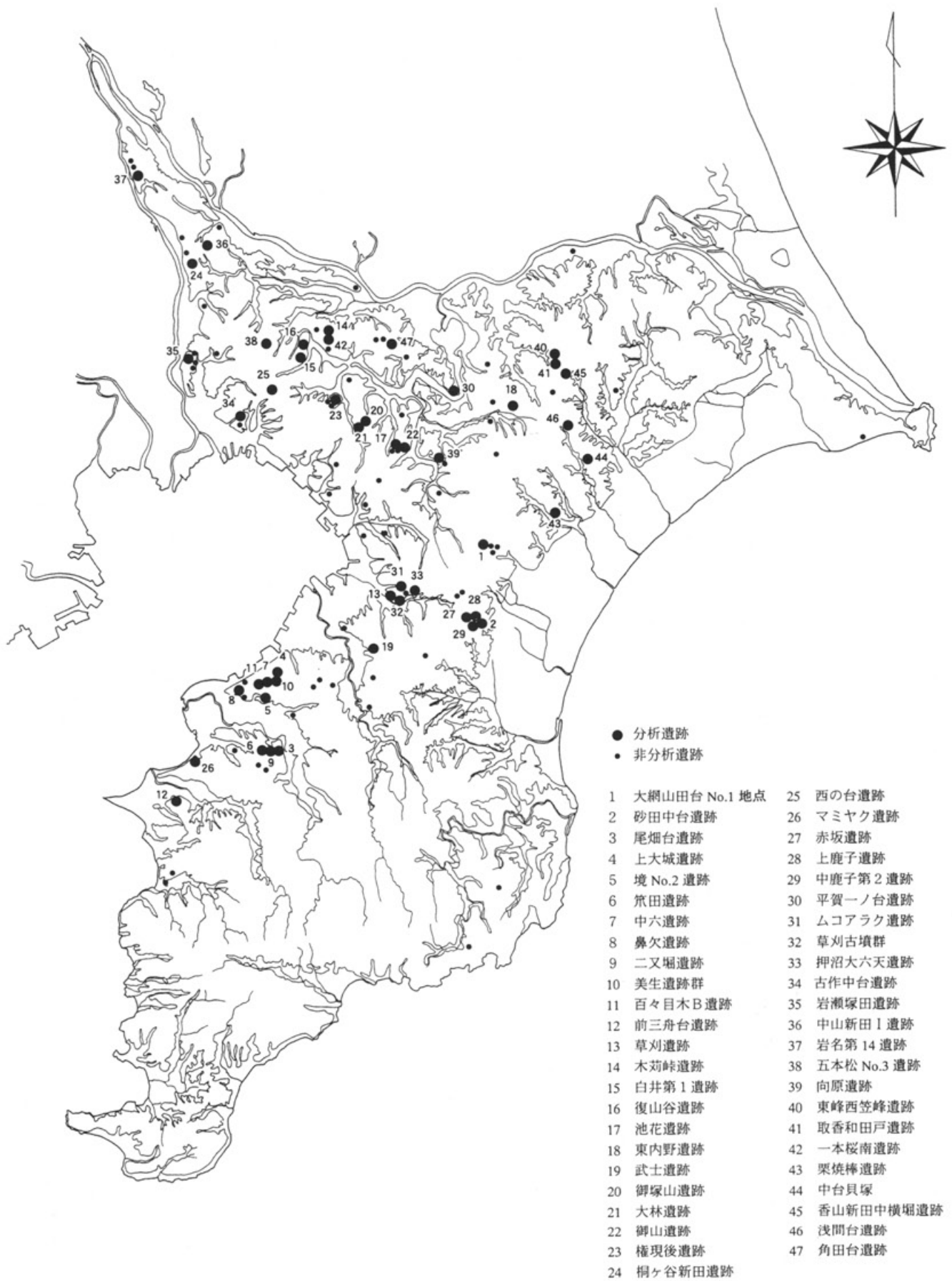
	遺跡・文化層・ブロック等	栃木県・高原山				信州・妻草峠				信州・星ヶ塔				信州・小深沢				箱根・畑宿				神津島・恩馳島				不明				合計
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計					
1	大網山田台遺跡群 No.1 遺跡	15	6	9	30								1			1												31		
2	砂田中台遺跡文化層Ⅱc第16ブロック					3	3	3	9					1		1												10		
3	尾畑台遺跡												1			1												1		
4	上大城遺跡												1			1												1		
5	堤 No.2 遺跡												1			1												1		
6	飛田遺跡																			1			1					1		
7	中六遺跡									1			1															1		
8	鼻欠遺跡	1			1																							1		
9	二又堀遺跡												1			1												1		
10	美生遺跡群第4地点									1			1															1		
11	美生遺跡群第6地点					1			1																			1		
12	百々目木B遺跡第1ブロック																											6		
13	前三角台遺跡第3ブロック																											4		
14	草刈遺跡東部	1			1					1			1	1		1												3		
15	草刈遺跡M区 F8-A ブロック		1		1	4			4	3	3	1	7		1		1											13		
16	木蒔峠遺跡第6・9・10ユニット	11	2		10	23																						23		
17	白井第1遺跡 012 ブロック				3	3							1			1												4		
18	復山谷遺跡 C ブロック	1			1	2																						2		
19	復山谷遺跡 I ブロック					2			2																			2		
20	池花遺跡第3文化層	8	1	4	13						1		1													1	1	15		
21	東内野遺跡第1次調査					2			2	1			1	1	1	2												5		
22	武士遺跡第7文化層 A2												1			1												1		
23	武士遺跡第7文化層 B E0-98 地点					7			7																			7		
24	武士遺跡第7文化層 B E0-85 地点					1			1																			1		
25	武士遺跡第7文化層 B C7-73 地点		1	1	2							2	2	2	2	7	11											15		
26	武士遺跡第7文化層 B D7-80 地点									1			1			1										1	1	3		
27	御塚山遺跡第1文化層第1ブロック												1			1												1		
28	大林遺跡第Ⅱb文化層第9・10ブロック	11	1	3	15								1			1												16		
29	御山遺跡第Ⅷa文化層第20・21ブロック	8			1	9																						9		
30	権現後遺跡第3文化層第12ブロック												4			4			1	1								5		
31	権現後遺跡第3文化層第14ブロック			1	1																					1	1	2		
32	桐ヶ谷新田遺跡									5	5		10															10		
33	西の台遺跡Ⅲ層上位ユニット1~5												15	2	2	19												19		
34	西の台遺跡Ⅲ層上位ユニット6			2	2																							2		
35	西の台遺跡Ⅲ層上位ユニット外																									1	1	1		
36	マミヤク遺跡												1			1												1		
37	赤坂遺跡第2・3ブロック	4	1	1	6													1			1							7		
38	上鹿子遺跡第8・11・12ブロック他	1			1	6		2	8																			9		
39	中鹿子第2遺跡第1ブロック		2		2								4	1	2	7												9		
40	中鹿子第2遺跡												1			1												1		
41	平賀一ノ台遺跡Ⅲ層文化層	1			1	1			1	2			2	2		2												6		
42	ムコアラク遺跡 T05 ブロック					1			1																			1		
43	草刈古墳群 2B-A ブロック					1			1																			1		
44	押沼大六天遺跡													1		1												1		
45	古作中台遺跡													1		1												1		
46	岩瀬塚田遺跡													1		1												1		
47	中山新田1遺跡	2			2	1			1					1		1										2	2	6		
48	岩名第14遺跡	1			1									1		1												2		
49	五本松 No.3 遺跡第9・11遺跡					1		1	2	1			1	2	1	1	2											6		
50	向原遺跡第1地点 No.1 ブロック	1	1	1	3									1		1												4		
51	向原遺跡第4地点 No.5 ブロック	1			1																							1		
52	東峰西笠峰遺跡石器集中4					1			1	2				1		1												3		
53	東峰西笠峰遺跡石器一括集中2・3他	2	1		3	6	3	3	12																			15		
54	取香和田戸遺跡第2文化層		2		2	1			1				1			1										2	2	6		
55	一本松南遺跡第7文化層第21ブロック	4	1	2	7																							7		
56	栗焼跡遺跡	2			2																							2		
57	中台貝塚	4			4																							4		
58	香山新田中横塚遺跡第5石器群									1		1	2			1	1											3		
59	香山新田中横塚遺跡ブロック外									1			1													1	1	2		
60	浅間台遺跡	9		3	12																							12		
61	角田台遺跡									1			1	4	2	2	8											9		

凡例 1: 尖頭器, 尖頭器未製品 2: ナイフ形石器, 棒器, 削器, 彫器等定型的な石器 3: 原石, 石核, 剥片, 石刃等

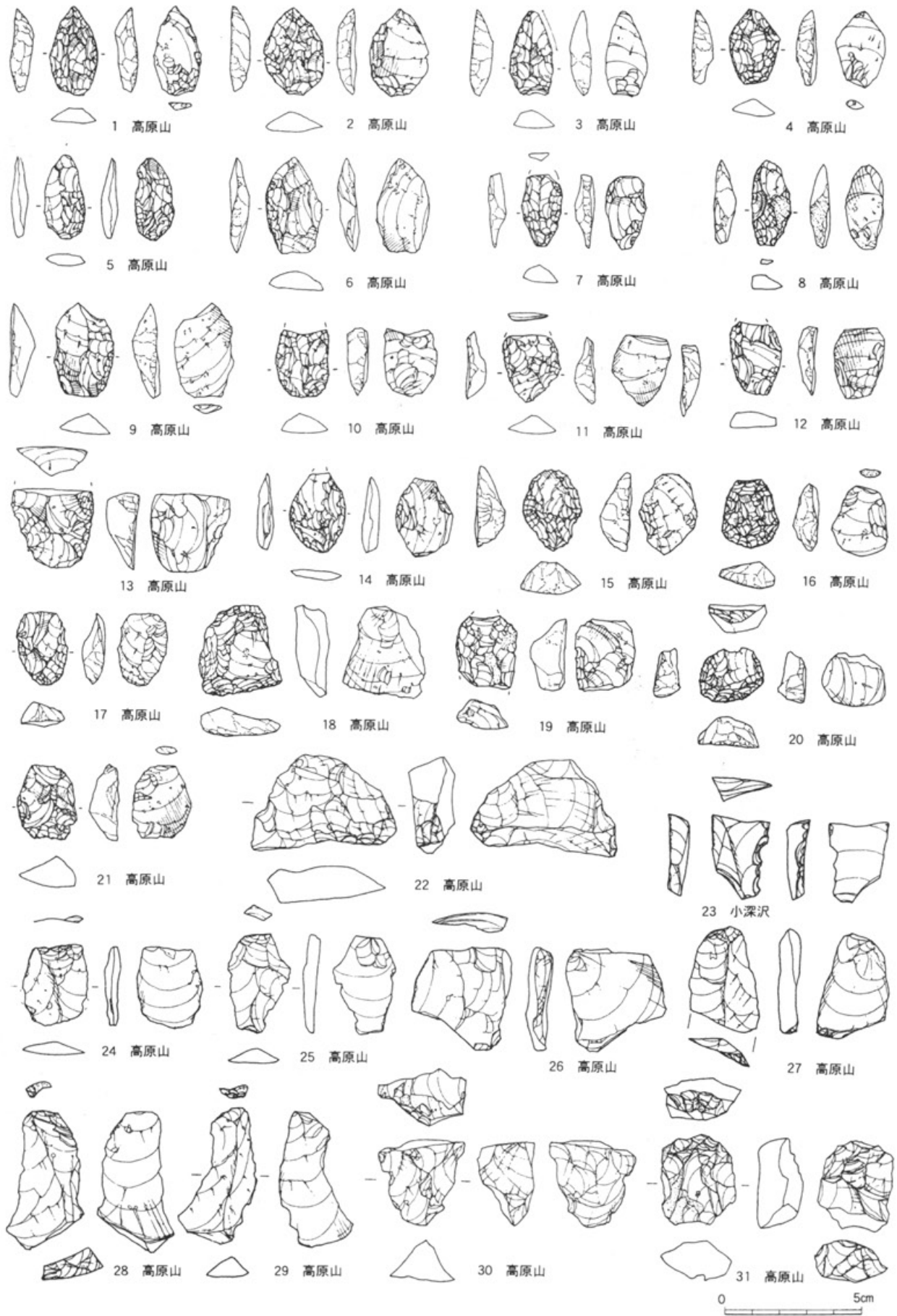
第14表 房総半島出土尖頭器石器群の黒曜石原産地推定結果 (5)

遺跡・文化層・ブロック等	栃木県・高野山				信州・麦草峠				信州・星ヶ塔				信州・小深沢				箱根・畑宿				神津島・恩馳島				不明				
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV					
向原遺跡第1-4地点																										A			
白井第1遺跡 012ブロック																										A			
大林遺跡第II b文化層第9・10ブロック																										A			
一本松南遺跡第7文化層第21ブロック																										A			
木茂峠遺跡第6・9・10ユニット																										A			
権現後遺跡第3文化層第14ブロック																										A			
赤坂遺跡第2・3ブロック																										A			
大綱山田台遺跡群 No.1遺跡																										B			
浅間台遺跡																										C			
五本松 No.3遺跡第9・11遺跡																										C			
東峰西笠峰遺跡石器集中4																										A			
東峰西笠峰遺跡石器一括集中2・3地																										A			
上鹿子遺跡第8・11・12ブロック地																										B			
武士遺跡第7文化層 B E0-98地点																										B			
綱ヶ谷新田遺跡																										B			
武士遺跡第7文化層 B C7-73地点																										B			
権現後遺跡第3文化層第12ブロック																										A			
中鹿子第2遺跡第1ブロック																										B			
西の台遺跡III層上位ユニット1~5																										B			
御山遺跡第VII a文化層第20・21ブロック																										A			
復山谷遺跡Cブロック																										A			
西の台遺跡III層上位ユニット6																										B			
鼻欠遺跡																										B			
栗焼埴遺跡																										C			
中台貝塚																										C			
復山谷遺跡Iブロック																										A			
美生遺跡群第6地点																										B			
武士遺跡第7文化層 B E0-85地点																										B			
ムコアラク遺跡 T05ブロック																										B			
草刈古墳群 2B-Aブロック																										B			
中六遺跡																										B			
美生遺跡群第4地点																										B			
尾畑台遺跡																										B			
上大城遺跡																										B			
境 No.2遺跡																										B			
二又堀遺跡																										B			
武士遺跡第7文化層 A2																										B			
マミヤク遺跡																										B			
押沼大六天遺跡																										B			
古作中台遺跡																										B			
岩瀬塚田遺跡																										B			
百々目木B遺跡第1ブロック																										B			
荒田遺跡																										B			
前三舟台遺跡第3ブロック																										B			
池花遺跡第3文化層																										B			
平賀一ノ台遺跡III層文化層																										A			
中山新田I遺跡																										A			
取香和田戸遺跡第2文化層																										A			
東内野遺跡第1次調査																										A			
角田台遺跡																										A			
草刈遺跡																										B			
岩名第14遺跡																										B			
武士遺跡第7文化層 B D7-80地点																										B			
砂田中台遺跡文化層II c第16ブロック																										C			
香山新田中横塚遺跡第5石器群																										C			

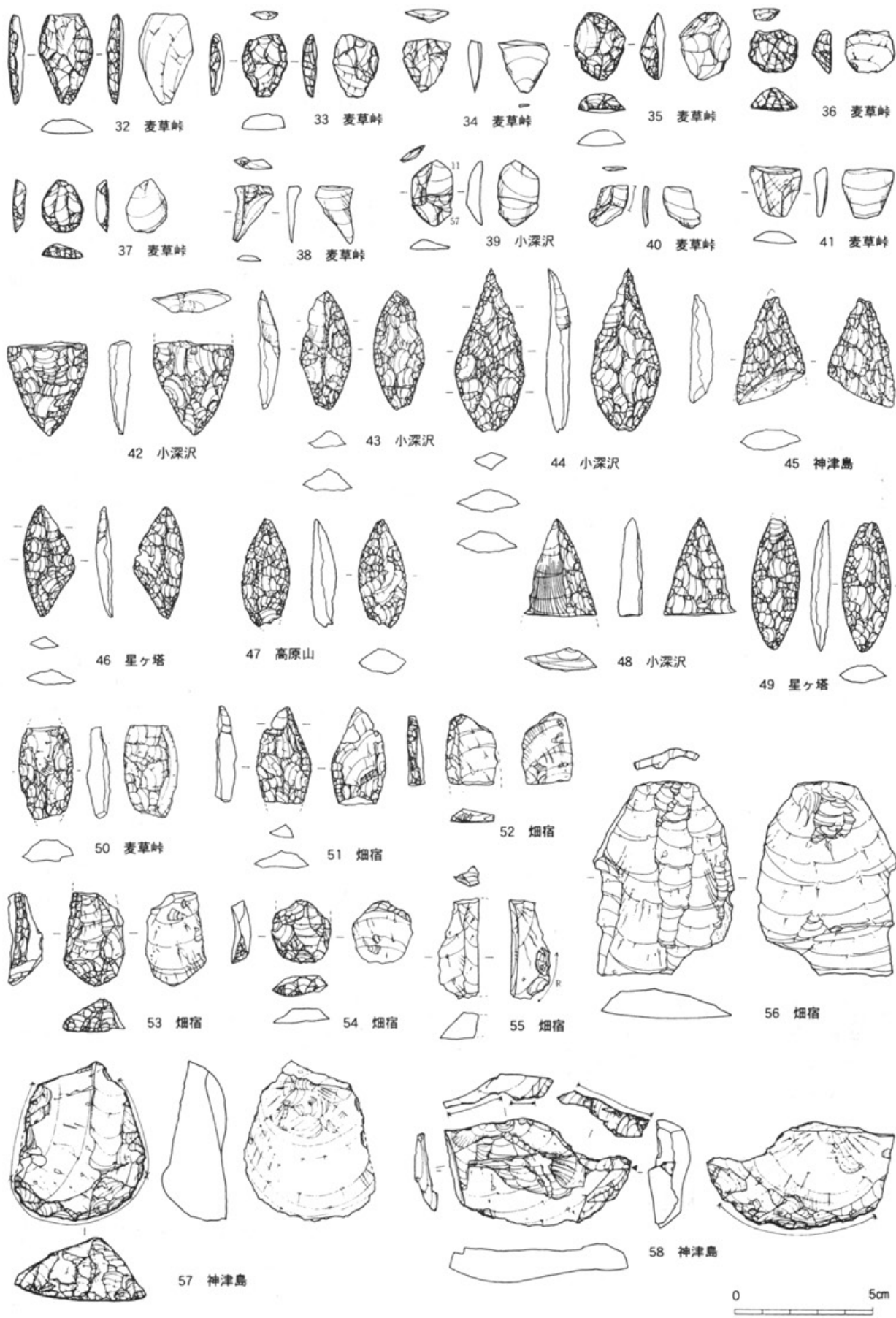
凡例 I類:原石～石器の調整加工までの全工程 II類:分割後～石器の調整加工まで III類:石器の調整加工 IV類:製品の搬入



第15図 黒曜石原産地推定分析資料出土遺跡分布図

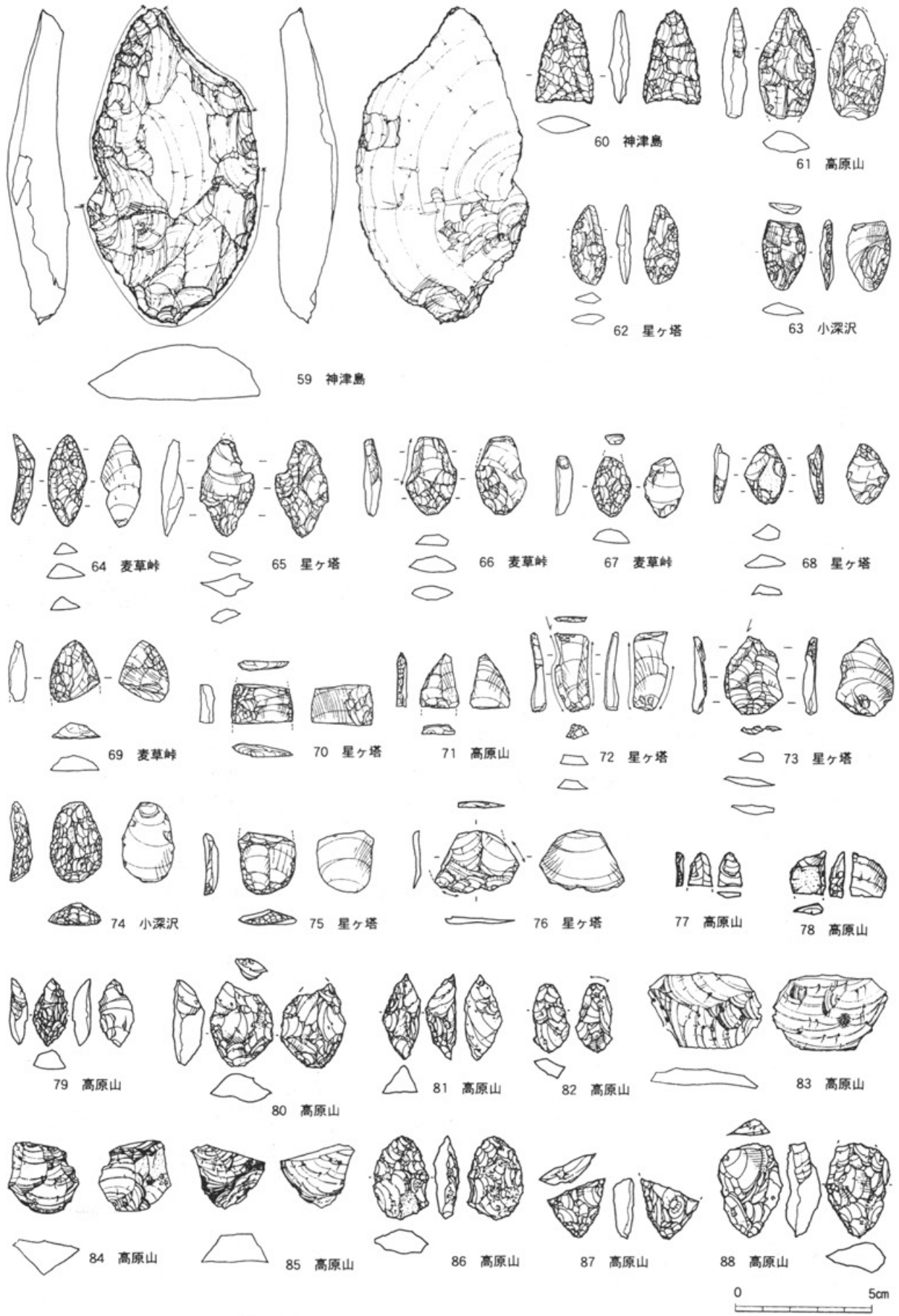


第16図 黒曜石原産地推定分析資料実測図(1)
大網山田台No.1地点〔1~31〕

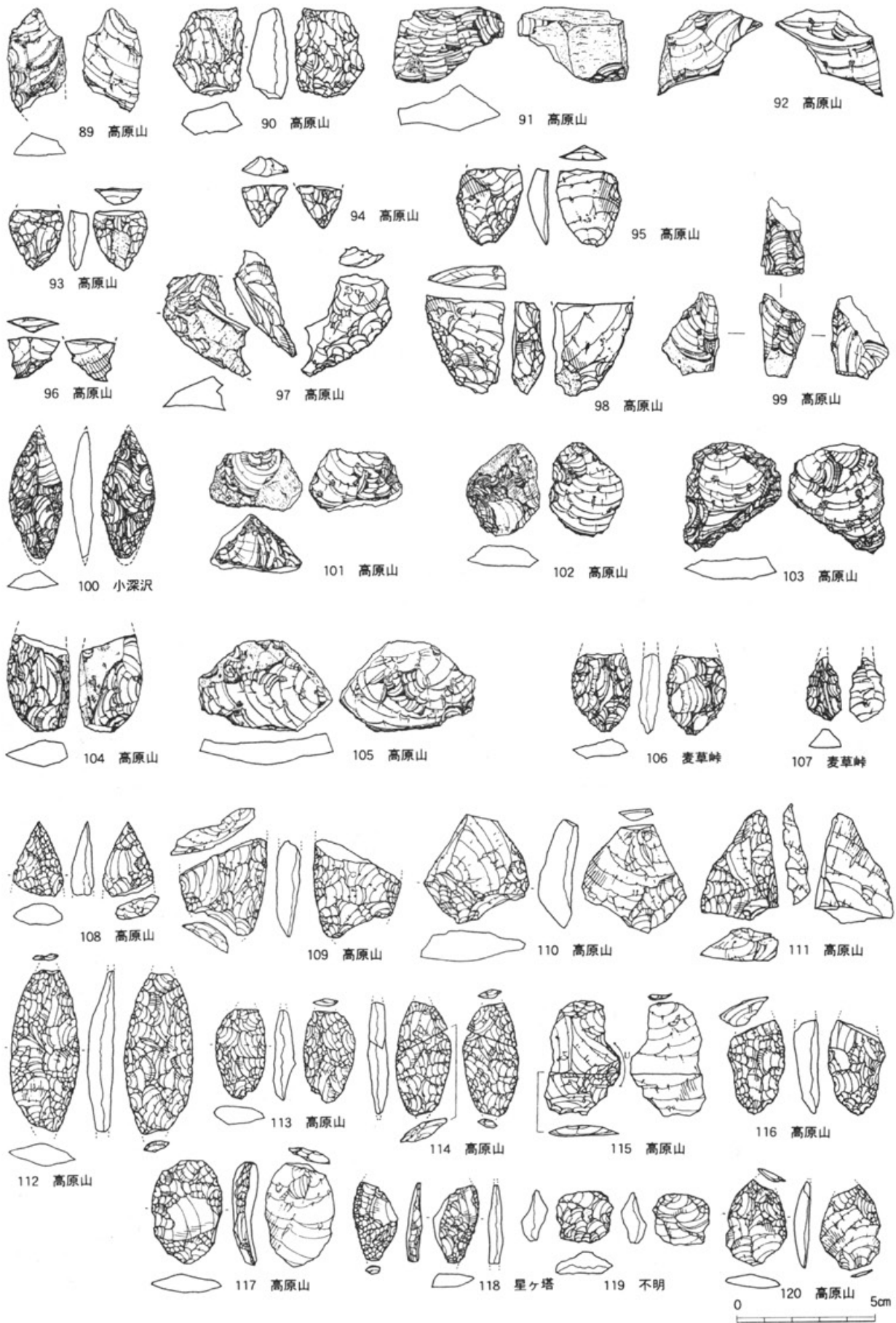


第17図 黒曜石原産地推定分析資料実測図(2)

砂田中台遺跡〔32~41〕, 尾畑台遺跡〔42〕, 上大城遺跡〔43〕, 境No.2遺跡〔44〕, 筑田遺跡〔45〕, 中六遺跡〔46〕, 鼻欠遺跡〔47〕, 二又堀遺跡〔48〕, 美生遺跡群〔49・50〕, 百々目木B遺跡〔51~56〕, 前三舟台遺跡〔57・58〕

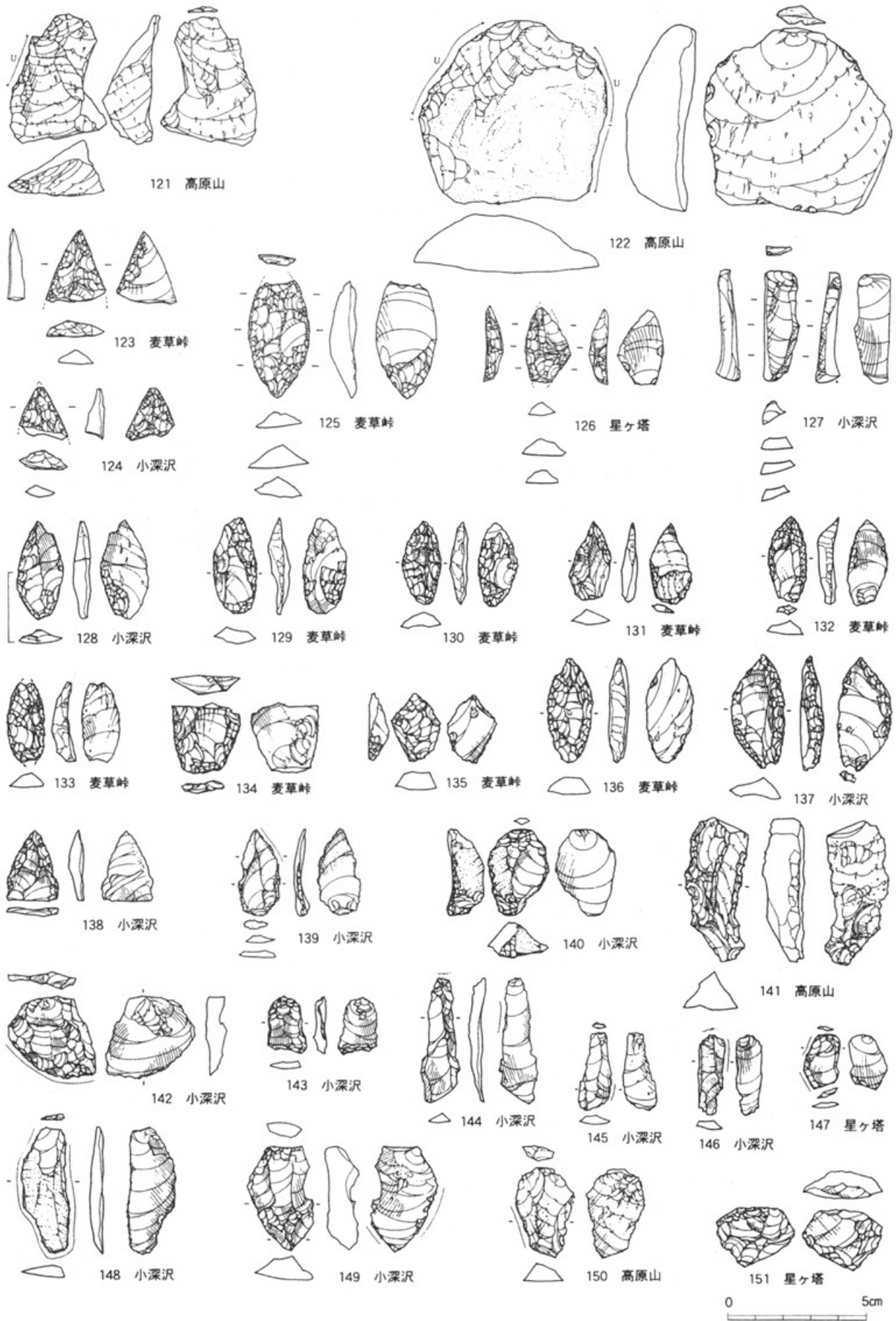


第18図 黒曜石原産地推定分析資料実測図(3)
 前三舟台遺跡〔59・60〕, 草刈遺跡〔61~76〕, 木苅峠遺跡〔77~88〕



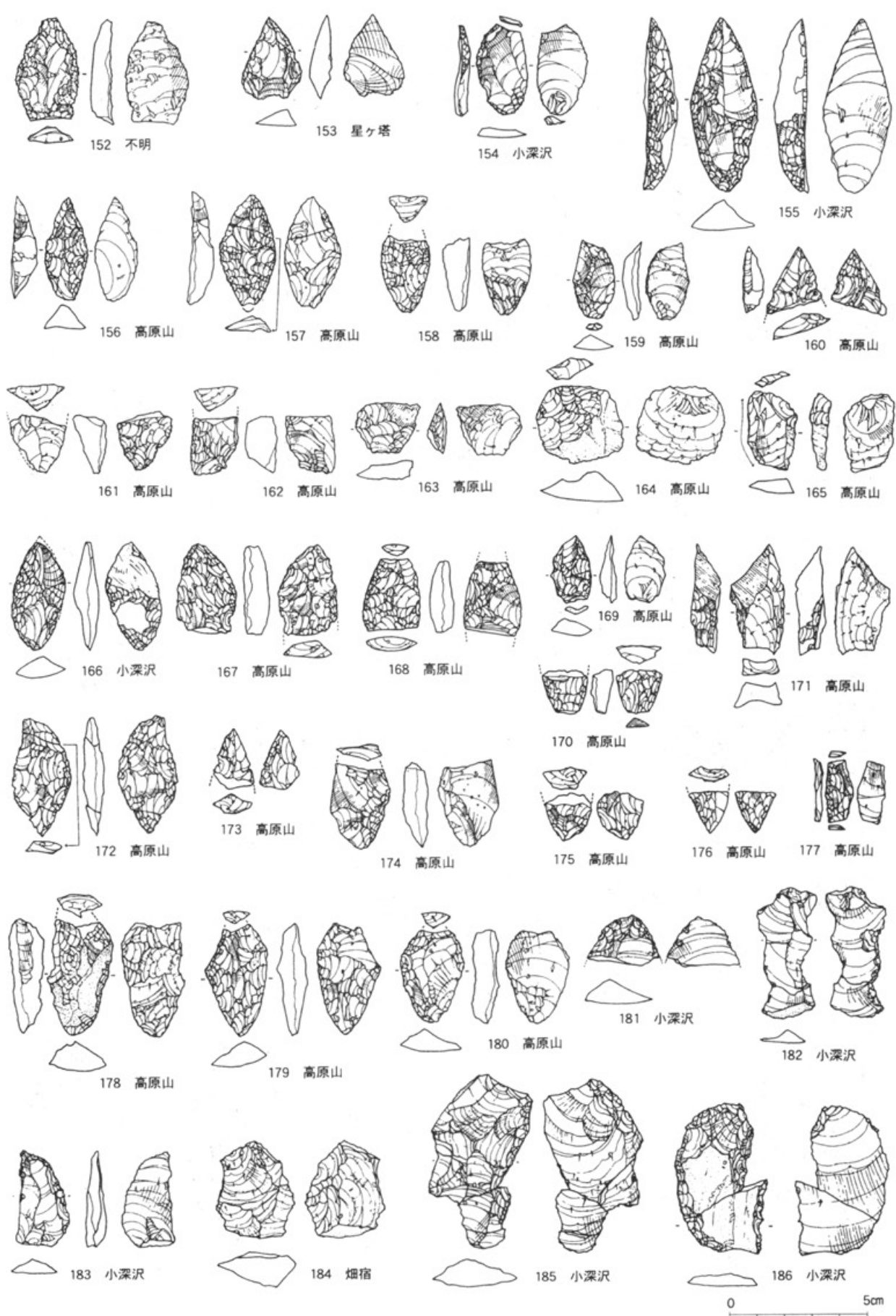
第19図 黒曜石原産地推定分析資料実測図(4)

木苧峠遺跡〔89~99〕, 白井第1遺跡〔100~103〕, 復山谷遺跡〔104~107〕, 池花遺跡〔108~120〕



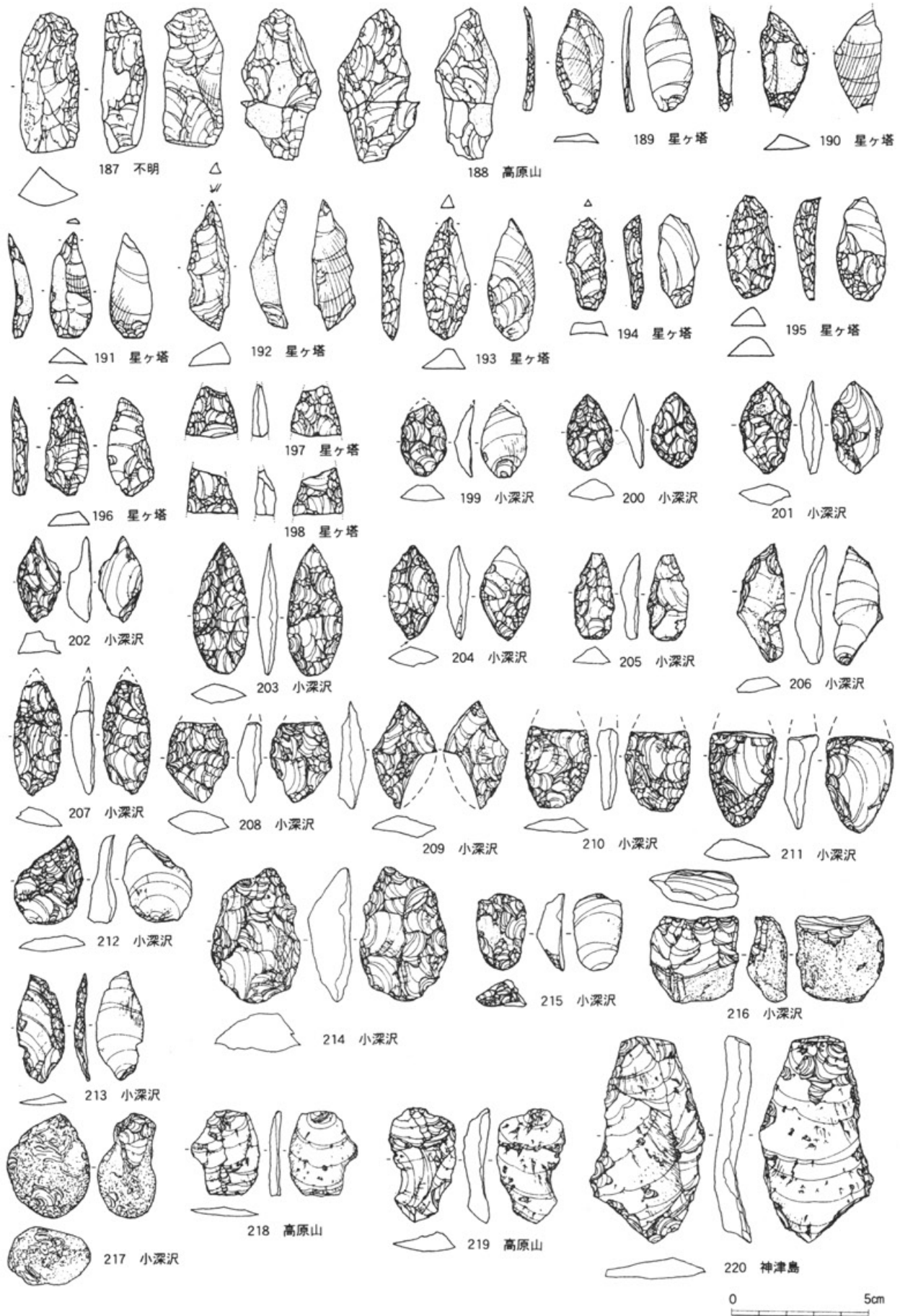
第20図 黒曜石原産地推定分析資料実測図(5)

池花遺跡〔121・122〕, 東内野遺跡〔123~127〕, 武士遺跡〔128~151〕



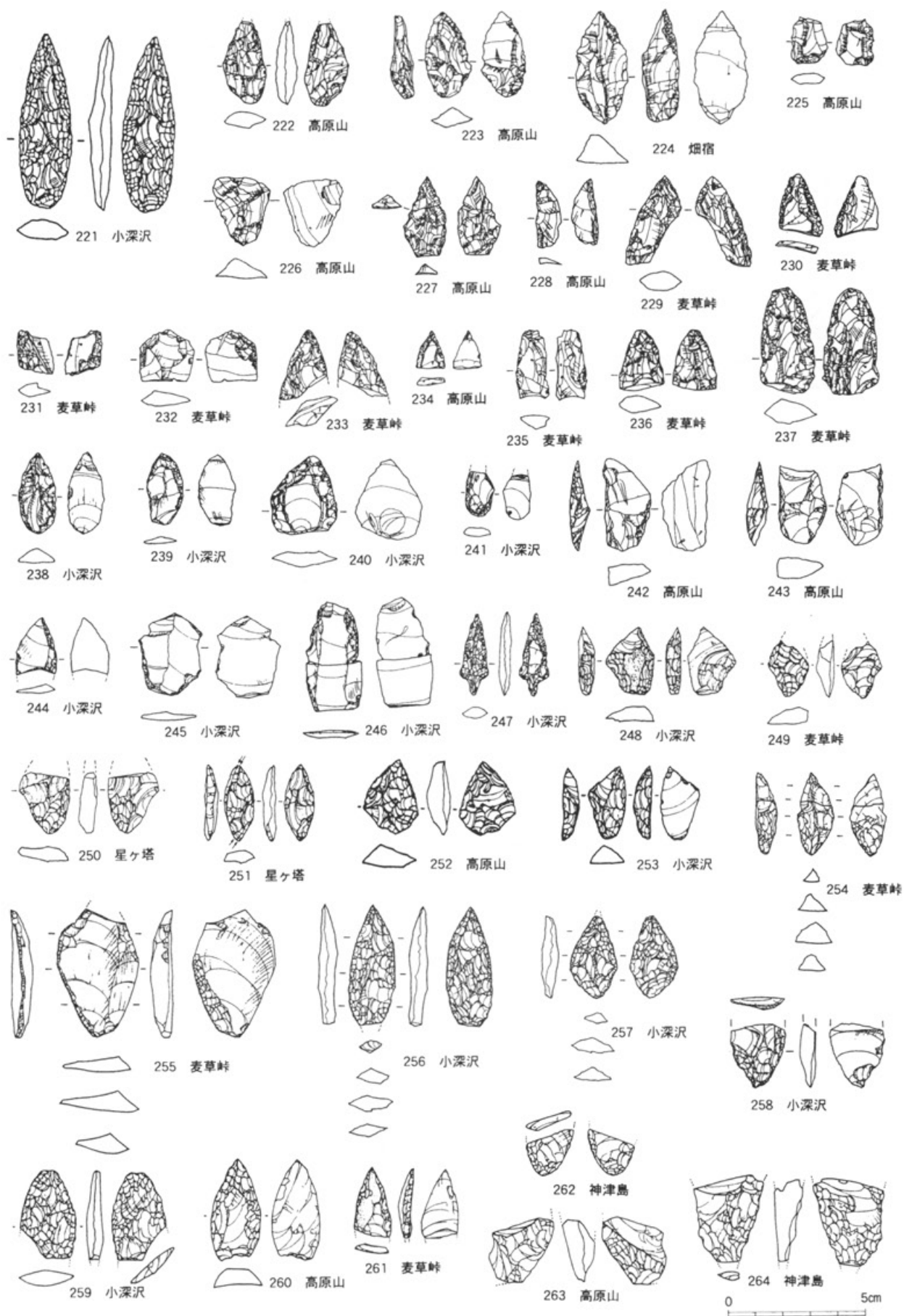
第21図 黒曜石原産地推定分析資料実測図 (6)

武士遺跡 (152~154), 御塚山遺跡 (155), 大林遺跡 (156~171), 御山遺跡 (172~180), 権現後遺跡 (181~186)



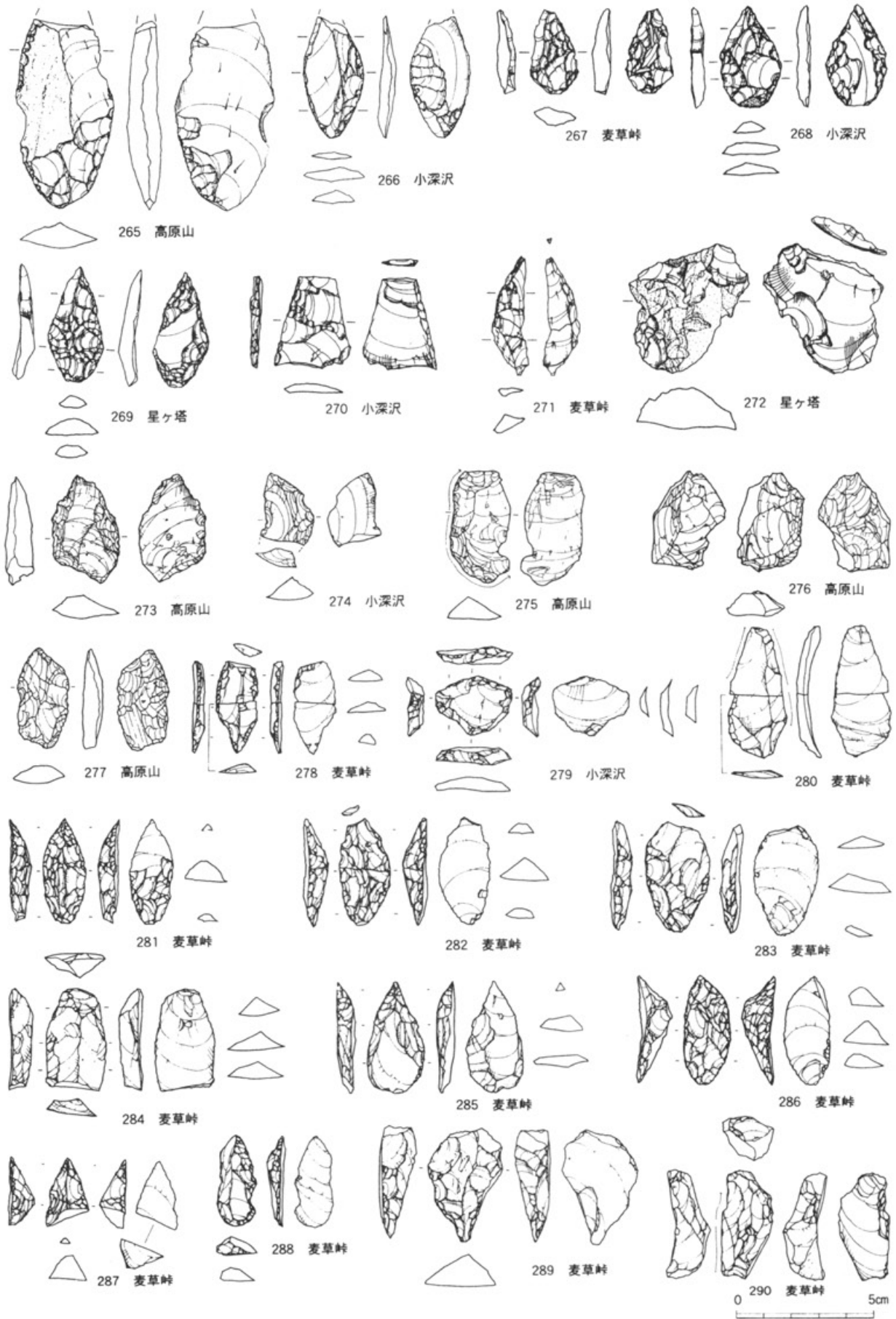
第22図 黒曜石原産地推定分析資料実測図(7)

権現後遺跡 [187・188], 桐ヶ谷新田遺跡 [189~198], 西の台遺跡 [199~220]



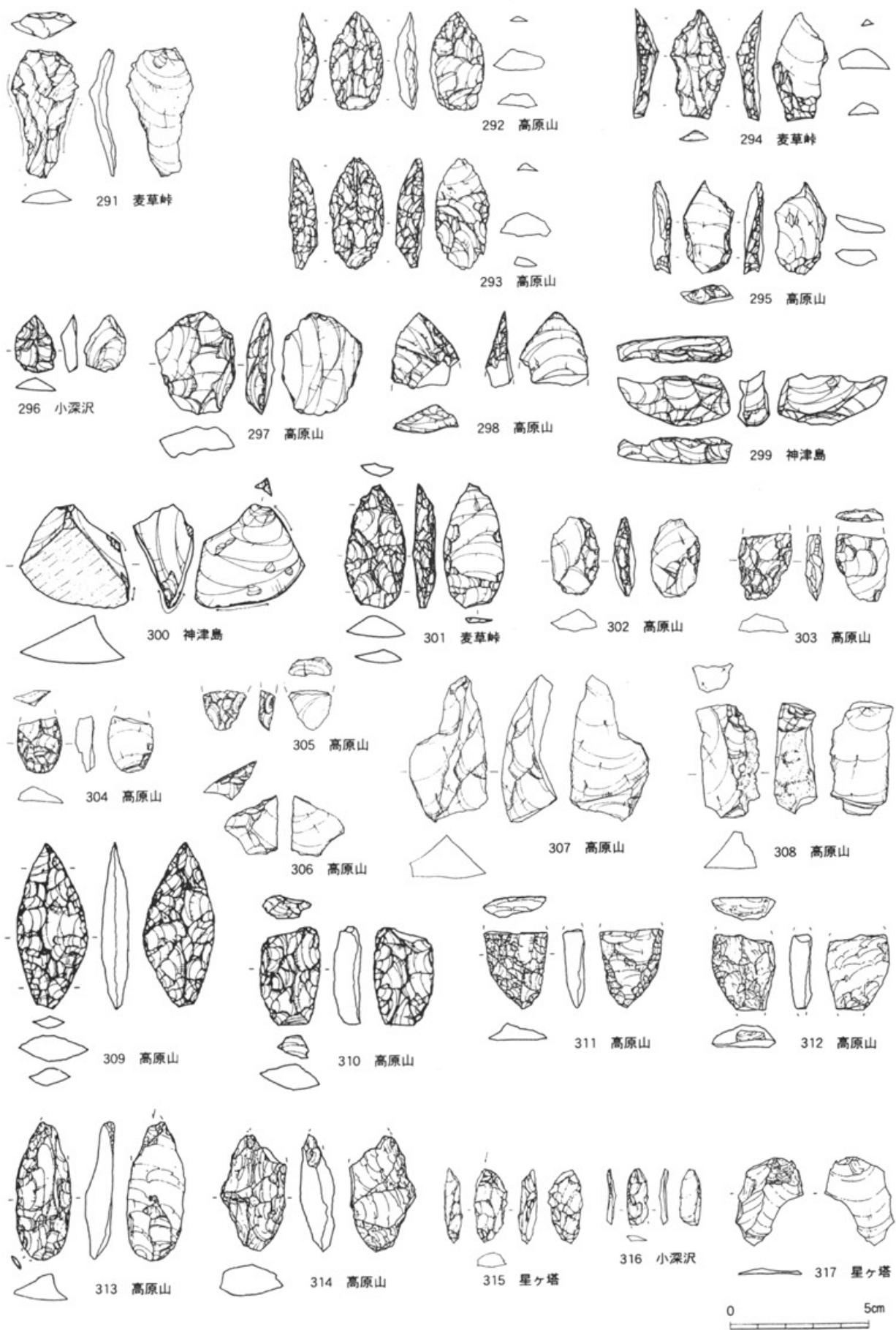
第23図 黒曜石原産地推定分析資料実測図 (8)

マミヤク遺跡 [221], 赤坂遺跡 [222~228], 上鹿子遺跡 [229~237], 中鹿子第2遺跡 [238~247], 平賀一ノ台遺跡 [248~253], ムコアラク遺跡 [254], 草刈古墳群 [255], 押沼大六天遺跡 [256], 古作中台遺跡 [257], 岩瀬塚田遺跡 [258], 中山新田I遺跡 [259~264]



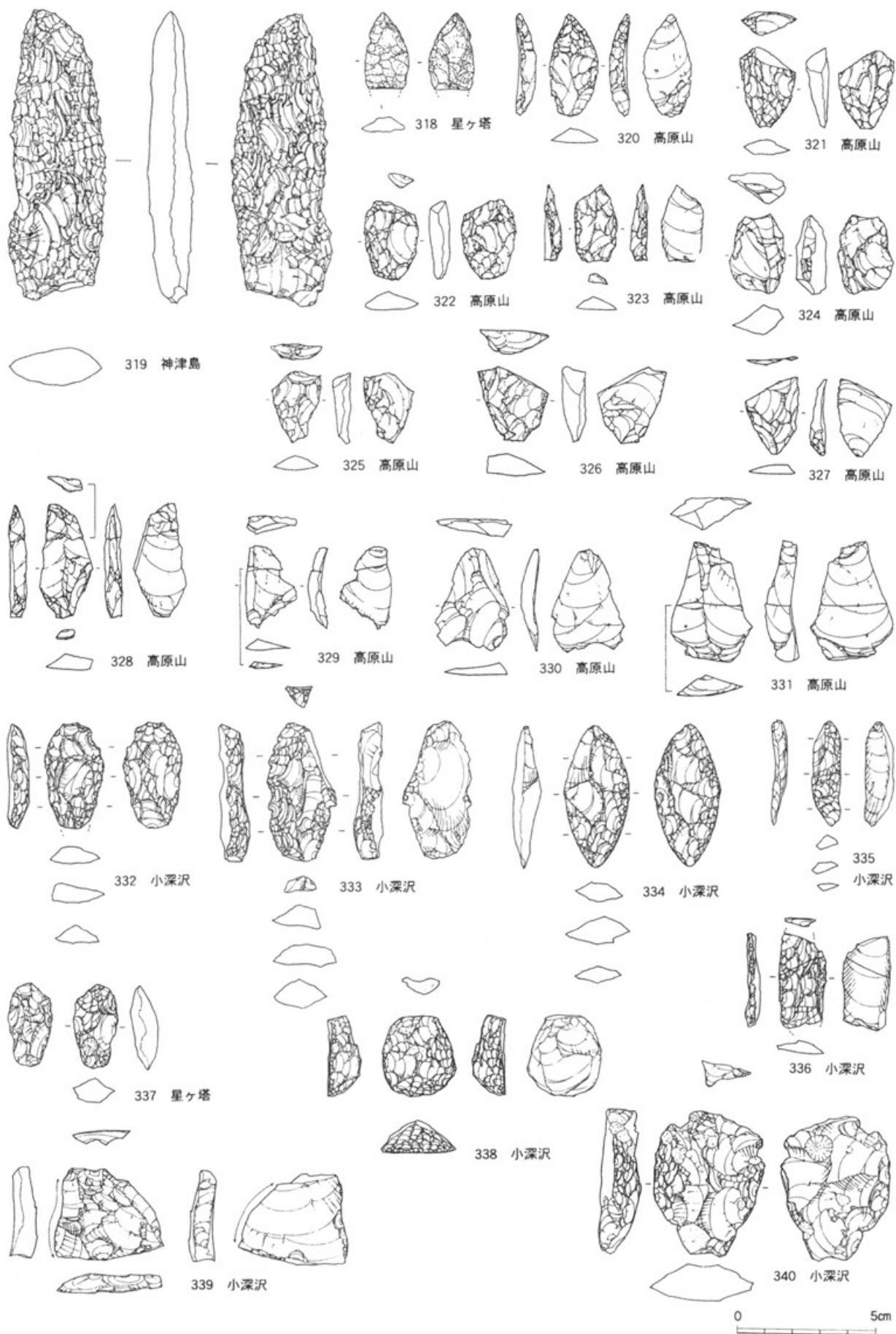
第24図 黒曜石原産地推定分析資料実測図 (9)

岩名第14遺跡〔265・266〕, 五本松No.3遺跡〔267~272〕, 向原遺跡〔273~277〕, 東峰西笠峰遺跡〔278~290〕



第25図 黒曜石原産地推定分析資料実測図 (10)

東峰西笠峰遺跡 [291~295], 取香和田戸遺跡 [296~301], 一本桜南遺跡 [302~308], 栗焼棒遺跡 [309・310], 中台貝塚 [311~314], 香山新田中横堀遺跡 [315~317]



第26図 黒曜石原産地推定分析資料実測図 (11)

香山新田中横堀遺跡 (318・319), 浅間台遺跡 (320~331), 角田台遺跡 (332~340)

第4章 尖頭器石器群の歴史的評価

島立 桂

1. はじめに

本紀要では、房総半島から出土した尖頭器石器群を集成し、整理・検討することによって、当該石器群を研究するための基礎資料を作成することを第一の目的とした。次に、尖頭器石器群の技術形態学的分析、遺跡の構造、編年、石器石材の構成原理、黒曜石の原産地推定分析など諸研究を通して、房総半島における当該期石器群の地域的特質を明らかにすることを試み、併せて、今後の研究方向をも模索した。

この中で、尖頭器石器群の編年については、層位的出土状況の検討と尖頭器の形態的特徴、共伴石器の構成、石器石材の内容を併せて考察した。しかし、「男女倉型」と「東内野型」に代表される2種類の有樋尖頭器の位置づけと、それぞれに対して時間的に併行すると考えざるを得ない木葉形尖頭器の一群との関係については、今後さらなる検討が必要である。一方、石器群を評価する視点として、石材構成と石材環境、石器形態とリダクション、「埋め込み理論」と行動形態を基本軸に据えた。

本章では、房総半島における尖頭器石器群各期の中から問題点を選び、まとめて代えたいと思う。なお、基礎資料の集成からはじまり、研究視点と方法、資料操作については、本紀要の構成メンバー全員の討論と検討を経て生まれたものであり、本章の作成にあたっては各章、各節からの成果を用いている。ただし、誤読や誤解があれば筆者の責任である。

2. 尖頭器の出現について

第1章第3節で記した通り、房総半島における尖頭器出現期の資料として、八千代市権現後遺跡第3文化層第12・14ブロック、同井戸向遺跡S-3ブロックなど数例がある。これらの石器群は、その出土層準と石器群の構成内容から他の尖頭器石器群一般とは明瞭に区別することができる。

当地域における尖頭器石器群の出土層準は、立川ローム層のハードローム層上部にはじまりソフトローム層を経て、漸移層にまで及んでいる。本紀要で採用した時期区分と出土層位との関係をみると、第1期の石器群はハードローム層上部からソフトローム層最下部にかけて、第2期から第4期にかけての石器群はソフトローム層中、第5期及び第6期の石器群はソフトローム層最上部から漸移層にかけて、それぞれ包含されている。従って、出土層位に基づく石器群の大別は可能であるが、編年的に最も問題となる第2期から第4期にかけては、いずれもソフトローム層中に包含されていることから、互いに近接するブロック同士以外は、層位的に先後関係を確認することが困難な状況である。以上のような問題点はあるものの、第1期の石器群については、第2期以降の石器群との層位的な分離が比較的容易である。

出現期の尖頭器は、長さ5cm程で、仮に尖頭器一般を小型品(～5cm)、中型品(5cm～8cm)、大型品(8cm～)に大別すると、小型品の中でも比較的大きめな一群である。形状は、やや幅広な木葉形で、調整加工は、尖頭器に通有の平坦剥離があまり発達せず、剥離角の緩やかな周辺調整が多い。従って、素材に対する変形の度合いは、その後に展開する両面調整の尖頭器に比べて小さい。同時に、部分的に見られる平坦剥離も、ナイフ形石器に見られる裏面基部調整(主に打瘤除去)と同様、縁辺加工の延長と見ることができ、素材時の剥離面は表裏に広く残されることになる。平坦剥離については、IX層を中心とする台

形石器や石斧、IX層からVI層にかけて展開した定型的な石刃技法の打面作出・再生をはじめとする石核調整など古くから見られる技法ではあるが、出現期の尖頭器にはあまり採用されていない。尖頭器の石材は高原山産の黒曜石が中心で、同時期の他の石器に多用される安山岩やメノウ、ホルンフェルスなどは、基本的に用いられていない。尖頭器出土遺跡・ブロックは、権現後遺跡、井戸向遺跡などに代表される通り、黒曜石の占める割合が高いこと、素材生産を含めて尖頭器の製作痕跡が見られることから、黒曜石の母岩消費と尖頭器の製作機会とが関連していたようである。

ところで、当地域におけるハードローム層上部からソフトローム最下部にかけての石器群を見ると、横長剥片や不定型の剥片を素材とする切出形ナイフ形石器と角錐状石器、鋸歯縁の削器、厚手の搔器を指標とし、これに各種ナイフ形石器や削器、錐などが加わる構成が一般的であり、尖頭器を伴わない石器群が圧倒的に多い。剥片剥離技術は、厚手の剥片や分割礫、各種円礫を石核の素材として、交互剥離と求心的な打点移動によって横長剥片や不定型の剥片など企画性の低い剥片を生産するものが多く、この他、角礫や分割礫を素材として打面と作業面を頻繁に入れ替え、寸詰まりの縦長剥片を生産するものもある。石器石材は、高原山産黒曜石と安山岩が最も多く、これにメノウ・玉随、頁岩、ホルンフェルスなどが加わっており、関東地方東部（栃木県、茨城県）を中心に、房総半島南部をも含めた範囲で入手可能な石材で構成されている。粗い質感の石材が中心で、信州産黒曜石や東北産頁岩など遠隔地産の良質、緻密な石材は乏しい。以上のような内容の石器群は、武蔵野編年II a期、相模野編年III期に対比される。

尖頭器の出現についての研究は、長期にわたりナイフ形石器と角錐状石器のいずれかを祖型とし、その形態変化によって在来石器群の中から自立的に発展したとする考え方が中心であった（文献A1954-1, 1965-9, 1969-2, 1974-4, 1979-53, 1989-73など）。特に、ナイフ形石器との関係を重視する場合は、相模野編年III期に特徴的な切出形ナイフ形石器との類似性が強調されている。しかし、房総半島、あるいは相模野台地における石器群の構成を見ると、出現期の尖頭器には典型的な切出形ナイフ形石器や角錐状石器が共存しており、いずれか一方の型式組列の延長線上に尖頭器を位置づけることは困難である。また、尖頭器出現期の次の段階には、切出形ナイフ形石器や角錐状石器が急速に減少するものの、それにとって代わるように尖頭器が増加するわけでもない。南関東地方では、第1期から第2期に至る石器群の変化の中で、尖頭器を伴う遺跡が大幅に増加し、尖頭器の普及は確実に進行していると見ることができ、多量のナイフ形石器に少量の尖頭器が伴う例が一般的で、基本的な石器群の構成自体は変化していない。

石器群の構成から尖頭器の出現を考えると、武蔵野編年II a期、相模野編年III期の石器群は、石器の種類が前後の時期に比べて格段に多く、特にナイフ形石器と削器の形態的多様性に顕著である（文献A1992-13）。また、角錐状石器や搔器、鋸歯縁の削器に代表される厚手の剥片石器も多く、多種多様な石器の素材に幅広く適合する剥片生産が基盤になっている。これが、新たな石器形態に対応する素地にもなっている。こうした石器群の変化に連動して、多種多様なナイフ形石器や削器の中から、周辺調整によって鋭利な先端部を作り出す石器形態、つまり幅広（木葉形）の尖頭器が新たに派生した可能性が考えられる。

さて、関東地方における尖頭器の出現は、相模野台地の良好な出土例を中心に検討されてきた。資料が不十分だった頃には、①相模野編年IV期前半に、両面調整木葉形という完成された形で突如として尖頭器が出現したこと、②石刃石器群の中であって、尖頭器は素材生産から製品の仕上げに至るまで、他の石器とは異なる独自の製作技術によって支えられたと想定されること、③相模野台地諸遺跡で尖頭器の製作痕跡が見られないこと、④在地石材が中心の同期石器群であって、尖頭器は信州産黒曜石が多用されたこと

などから、「構造外器種」としての位置づけが強調され、少なくとも関東地方から見て外来的色彩の強い石器形態と捉えられた（文献A1976-18）。これに、中部高地（特に男女倉遺跡群）で有樋尖頭器が多量に出土していることが作用し、中部高地の黒曜石原産地帯で尖頭器が発生し、周辺地域へ伝播したという構図が出来上がっていった（文献A1991-86）。しかし、近年、房総半島や相模野台地において、従来考えられていたよりも古い段階から尖頭器が出現していたことが明らかとなってきた。尖頭器の形態的特徴は完成された両面調整ではないこと、石器石材は基本的に信州産黒曜石ではなく在地色が強いことなどから、尖頭器が在来石器（ナイフ形石器や削器）の自立的発展から派生した可能性が高くなった。一方、中部高地は尖頭器石器群の発達した地域であり、相模野編年Ⅲ期に併行する可能性のある石器群も提示されてきたが、それだけでは周辺地域に先んじて尖頭器が発生し、拡散したという解釈は成り立たない。

房総半島において、尖頭器が出現するよりも前のAT層準（Ⅵ層）の石器群には、①信州産黒曜石による中・小型の石刃石器群と、②東北産頁岩による大型の石刃石器群がある。いずれも、ナイフ形石器、彫器、搔器を中心とした比較的単純な構成を示しており、房総半島から見た石材産地の方向は異なるものの、石器石材の大半を遠隔地に求めている。従って、この時期の集団は広範囲の地域と密接に関連した生活を営んでいたことがわかる。一方、尖頭器の出現期（Ⅳ層下部）になると、信州産黒曜石や東北産頁岩が激減し、Ⅵ層では少数派だった高原産黒曜石や安山岩、ホルンフェルスなどの利用頻度が急速に拡大する。このことは、Ⅵ層の集団に比べて、関わりのある地域の範囲が明瞭に変化したことを意味している。

同時に、石器群の技術基盤となる剥片生産についても、Ⅵ層とⅣ層下部の出土資料を比較すると、後者では石刃技法が南関東地方の中では比較的顕著な当地域にあって、その存在が影を潜め、横長剥片や不定形の剥片が主体的に生産されるようになる。石器の構成も、角錐状石器や鋸歯縁の削器など新たな石器が登場する他、搔器や各種削器も増加する。石器組成、剥片剥離技術、石器石材の構成が互いに連動して、大きな変化を遂げているのである。田村 隆の強調する「埋め込み理論」に従えば（文献B1992-8）、移動範囲と年間活動計画に合わせた多様な石器製作とその利用、石器そのものを支える石材の調達は、有機的に関係をもった構造を成している。房総半島を周回経路の一部に取り込む人々は、尖頭器出現期になると、主たる活動範囲をそれまでの中部高地や東北地方南部方面にまで及ぶ広域型から、関東平野東半部を中心とする地域型へ変更したと考えられる。その背景として、第一に環境の大規模な変化があげられる。当時の具体的な環境を想定することはなお困難であるが、例えば、関東平野を巡る山塊が移動の障害になるような変化が発生した、あるいは、石材採取地に不都合が生じた、さらには広域移動を敢行する必要がなくなった、といった事柄が考えられる。活動範囲の縮小に伴って良質な石器石材の調達は阻害され、前代（Ⅵ層）ではあまり活用されなかった石材にも目が向けられることになる。一方で、限定された空間での資源開発とその有効利用に則って石器組成は多様化し、石材環境と相俟って、当該期石器群が形成されたと考えられる。相模野台地においても事情は共通しており、黒曜石に限っても信州産から伊豆・箱根産への変化がある。石材構成は、広域型から地域型（より狭い範囲）へ変化していると想定され、各地で個性的な地域的石材構成を形成する。このことについて、特殊な枠組みを想定して議論を狭める意図はないが、例えばⅥ層に見られる広域型の石刃石器群を寒冷環境下の「草原の民」、Ⅳ層下部に見られる地域型の剥片石器群をやや温暖な環境下の「森林の民」と、象徴的に捉えることも考慮しておきたい。いずれにせよ、このような多方面に及ぶ諸事情の転換期に、尖頭器が出現した必然性が隠されているに違いない。

3. 尖頭器の浸透について

尖頭器が出現し、浸透する過程で有樋尖頭器が登場する。有樋尖頭器は、房総半島では、黒曜石を用いた両面調整で左右対称形の「男女倉型」と、頁岩系石材を用いた片面調整で左右非対称形の「東内野型」があり、それぞれは一定の時間幅をもって継起したと考えられている（文献A1988-13ほか多数）。尖頭器の形状、使用石材、分布状況を見ると、両者が無縁とは思えないものの、一方から他方への直接的な置換は考え難く、時間的に併行する部分を想定することも必要であろう。特に、「東内野型」が房総半島の中でも石材環境の最も劣悪な印旛沼周辺に顕著な分布を示すことは示唆的である。反面、共存するナイフ形石器の型式内容を勘案すると、大局的には石刃素材のナイフ形石器を伴う前者が古く、剥片素材の小型のナイフ形石器を伴う後者が新しいようである。

さて、「男女倉型」に分類される有樋尖頭器を出土した主な遺跡としては、流山市上貝塚貝塚、鎌ヶ谷市五本松No.3遺跡、佐倉市大林遺跡第II文化層b、四街道市御山遺跡第VIII a文化層、白井市白井第1遺跡、印旛郡本埜村角田台遺跡などがある。また、市原市天神台遺跡、山武郡横芝町北長山野遺跡、袖ヶ浦市境No.2遺跡などでも単独出土ながら美しい男女倉型有樋尖頭器が出土しており、その分布は房総半島全域に広がる。尖頭器の石材は、信州産黒曜石と高原山産黒曜石が中心であるが、黒曜石以外には、上貝塚貝塚で流紋岩、嶺岡産頁岩、ノジュール、角田台遺跡で流紋岩や東北産を含む各種頁岩が用いられている。尖頭器の一般的なあり方としては、石器石材の種類に関わらず、大半が製品または半製品の状態で搬入されており、房総半島諸遺跡で素材から製作した形跡は見られないことがあげられる。石器組成は、尖頭器、石刃素材のナイフ形石器、彫器、搔器、削器などがあるが、各遺跡個々の構成内容を見ると、尖頭器以外の石器は部分的にしか伴わない。その中であって、角田台遺跡は石刃とそれに関連した彫器、削器などが多量に伴っており、やや特異な存在である。

相模野台地では、男女倉型有樋尖頭器が立川ローム層L2層からB1層下部にかけて出土するが、この層準の石器群を見ると、石刃素材の2側縁調整、端部調整のナイフ形石器を中心とする石器群（中村遺跡第V文化層、深見諏訪山遺跡第IV文化層など）が圧倒的に多い。しかし、近年尖頭器を中心とする石器群（大和市No.210遺跡）も検出されはじめた。ナイフ形石器を主体とする石器群にも製作痕跡をもたない有樋尖頭器が少量伴うことから、本来は、両種の遺跡が補完的關係にあったと言える。もっとも、前者の遺跡に組成する有樋尖頭器は信州産黒曜石が主体的であるが、後者の唯一の検出例である大和市No.210遺跡では安山岩の有樋尖頭器が製作されており、両種の遺跡の關係を詳細に検討する状況ではない。

相模野台地で認識された2種類の石器群を参考にすると、房総半島でも類似した状況を窺うことができる。有樋尖頭器を保有する遺跡については先述した通りであるが、御山遺跡では、高原山産黒曜石による男女倉型有樋尖頭器を中心とする石器群（第VIII a文化層）の上位に、頁岩・凝灰岩系石材による石刃石器群（第VIII b文化層）があり、後者には尖頭器が見られない。佐倉市大林遺跡では、御山遺跡第VIII a文化層に近似した内容を示す第II文化層bとほぼ同一層準（第II文化層a）と、やや下位の層準（第III文化層）の2つの文化層から石刃石器群が検出されている。御山遺跡と大林遺跡の層位的關係は、相互に錯綜しているようにも見えるが、一方で、一定の時間幅をもって両者が併存したと評価することもできる。市川市今島田遺跡や四街道市大割遺跡第5文化層、印旛郡本埜村雨古瀬遺跡などでも、使用石材に多少の変異はあるものの、2側縁調整や端部調整のナイフ形石器を指標とする石刃石器群が検出されている。また、御塚山遺跡第7地点第I文化層や市原市武士遺跡第7文化層A1、鎌ヶ谷市落山遺跡では、石刃石器群の中に

細身の木葉形尖頭器が少量伴っている。以上のような石刃石器群は、有樋尖頭器を含まない点、石器石材に東北産や北・東関東産、あるいは房総半島南部産の頁岩・凝灰岩系石材を多用する点で共通し、概ね「砂川期」石器群（相模野編年Ⅳ期前半）に対応すると考えられる。従って、房総半島においても①高原山産ないしは信州産黒曜石による男女倉型有樋尖頭器を主体的とする石器群と、②各種頁岩系石材による石刃石器群とが別個に存在することになる。従来の編年観では、両者は時間的前後関係に置き換えられがちであるが、層位的に錯綜しており、前後関係だけでは説明が難しい。両石器群が同一集団によって残されたものか否か、仮に同一集団であるならばどのような背景の下にそれぞれの遺跡・石器群が形成されたか、といった問題が残るが、いずれにせよ両石器群が時間的に並存した可能性は高い。

武蔵野台地や相模野台地では、中規模河川の流域で「砂川期」石器群が展開したと考えられている。この石器群の特徴は、居住地近傍から原石を入手し、1個の原石を2～3か所の居住地を経て消費することである。このような動きを数個の原石に対して、それぞれ工程をずらし、同時に原石を補給し続けて展開しており、小規模な範囲で「連鎖的な」石器製作を行っている。一方、房総半島では石材産出地が地理的に偏っており、特に房総半島北部では良質な石器石材の入手が困難なことから、武蔵野・相模野両台地諸遺跡のように限定的な範囲内では、継続的な原石の補給と連鎖的遺跡群の形成は見込めない。1遺跡では完結しない石刃生産の連鎖的構造によって遺跡・ブロックが形成されている点で、御山遺跡第Ⅷb文化層をはじめとする上記諸遺跡は、関東地方西部に分布する「砂川期」石器群と共通点が多いものの、石材補給の面では若干事情が異なっていた可能性がある。石刃本体の搬入品が多いことや石刃生産の明瞭な資料でも、原石消費の初期から前半にかけての工程を示す資料は乏しく、後半の資料が目立つこと、また、大半の遺跡が50点未満の小規模なブロックで構成され、1・2個体の母岩を細々と消費していたことなど、その間の事情を物語っているのかも知れない。

「砂川期」石器群は、素材からの製作痕跡の乏しい有樋尖頭器と原石が遺跡ごとで消費されていくナイフ形石器群とが共存する。これは、尖頭器製作の初期から半ばまでの工程は原産地周辺で行い、半製品や製品の状態で携行する一方、石刃生産やナイフ形石器の製作と使用は、原石を携行しながら計画的に、あるいは臨機的に実施したと考えられる。また、特に房総半島では黒曜石を中心とした尖頭器の仕上げと欠損品の補修を行い、関連資料を廃棄したブロック（断絶的な石器群）と頁岩系石材による石刃生産と、ナイフ形石器の製作から関連資料の廃棄までを行ったブロック（連鎖的な石器群）とは基本的に重ならない。このことから、次の二つの可能性が考えられる。まず、第1は、規則的な周回の移動生活の中で、尖頭器とナイフ形石器の消費の仕方に相当な開きがあったということが考えられる。ただし、この場合、北関東方面、あるいはそれ以北の石材が石刃生産によって完全に消費されることなく、房総半島まで保持され続けた点に疑問が残る。第2は、「季節的周回」というと時計の文字盤のように一定間隔の居住地を規則的に周回したという印象をもつが、尖頭器製作の断絶性とナイフ形石器製作の連鎖性を考えると、移動には①拠点の居住地間の大規模な（長距離）移動と②拠点の居住地周辺を巡る小規模な移動とがあり、これが複合し、石器製作活動もそれに付随していたことが考えられる。いずれにせよ、対照的とも言える2種類の遺跡がそれぞれ同一地域内に形成される状況が、尖頭器が大量に製作・使用される前段の時期に各地で生じた現象であることがわかる。

ところで、袖ヶ浦市百々目木B遺跡は、房総半島南部嶺岡産の頁岩を主体とする石器群である。石核の稜形成と細かな打面調整を伴う定型的な石刃技法と石刃素材の各種ナイフ形石器があり、箱根畑宿産の黒

曜石を用いた片面調整の有樋尖頭器と安山岩の木葉形尖頭器が各1点見られる。成田市取香和田戸遺跡第2文化層でも、尖頭器の数量に相違があるものの、石材構成や尖頭器、石刃技法の特徴が百々目木B遺跡に共通する。両面調整の男女倉型有樋尖頭器を指標とする一群と石刃素材の2側縁調整のナイフ形石器を指標とする一群との対照性に変化が生じ、一方で東内野型有樋尖頭器が発達する前兆と考えられる。

4. 尖頭器の増加について

房総半島を最も特徴付ける尖頭器に、東内野型有樋尖頭器がある。左右非対称の木葉形という独特の形態の特徴をもち、佐倉市太田大篠塚遺跡、印旛郡印旛村平賀一ノ台遺跡、印旛郡富里町東内野遺跡、銚子市三崎三丁目遺跡などでは大規模遺跡が形成される。一般に、尖頭器石器群の大規模な遺跡は石器石材の豊富な原産地に立地することが多いが、東内野型有樋尖頭器をもつ遺跡に限っては、良質な石器石材の乏しい房総半島北半部、特に印旛沼周辺に集中する。遺跡内の石器分布で特徴的な点は、広範囲にわたり石器ブロックが連続的に分布することである。また、しばしば粉々に破碎された焼け礫が石器ブロックに重なる。このことから、同じ遺跡が繰り返し利用されたと考えられる。

石器構成は、多量の有樋尖頭器に特徴があり、これ以外は遺跡による格差が大きい。例えば、平賀一ノ台遺跡では、搬入された東北産頁岩の石刃が多量にあり、石刃素材の多種多様な彫器や搔器が伴い、ナイフ形石器も少量みられる。有樋尖頭器も東北産頁岩を多用しており、石刃素材の可能性が考えられる。一方、東内野遺跡では、遺跡内で安山岩の円礫を用いて不定型の剥片を量産しており、これは「小型幾何形」のナイフ形石器や一部の尖頭器の素材になっている。尖頭器が主体を占め、これにまとまった量の搔器が伴うことは平賀一ノ台遺跡に共通するが、東北産頁岩や嶺岡産頁岩による石刃や彫器は少ない。有樋尖頭器には嶺岡産頁岩が目立ち、それ以外には安山岩、北・東関東方面と考えられる頁岩などが用いられている。平賀一ノ台遺跡、東内野遺跡とも有樋尖頭器の多くは搬入品で、部分的に製作痕跡の窺えるものは、半製品の仕上げや欠損品の再生作業が主体と考えられる。少なくとも、素材から製作したものは乏しい。三崎三丁目遺跡は、遺跡近傍で銚子産チャートが入手可能な「原産地」遺跡で、遺跡内で各種剥片生産や石器の製作を行っている。銚子産チャートは良質な石材ではないため、剥離をスムーズに行うことが難しく、形状の整った石器は少ないが、石刃、石刃素材の2側縁調整のナイフ形石器がまとまっている。東北産頁岩や高原山産黒曜石も部分的に見られる。報告書未刊行のため詳細は不明であるが、有樋尖頭器のいくつかは銚子産チャートを用いており、遺跡内で素材から一貫して製作された可能性がある。石器石材の原産地に立地するためか、石刃生産と尖頭器の製作とが同一遺跡内で展開する特殊な状況である。黒曜石の尖頭器については、三崎三丁目遺跡が高原山産、平賀一ノ台遺跡と東内野遺跡が信州産と推定される。

ところで、機能的側面から石器群をみると、東内野型有樋尖頭器をもつ石器群は、頻繁な石器の再生によって形成されていることがわかる(文献A1992-13)。特に平賀一ノ台遺跡、東内野遺跡では、有樋尖頭器から剥離された削片が多量に出土しており、石器の再生が繰り返し行われたことがわかる。また、平賀一ノ台遺跡では石刃素材の彫器がまとまっているが、彫刻刀面を作り出す打面や刃部の位置、形状を見ると、もともと調整加工の乏しい石刃の鋭利な縁辺を、使用による小規模な損傷に伴って再生したものが一定量含まれている可能性が考えられる。石器製作に関しては、状況に応じて多量の剥片生産を行ったり、一方で細々と刃部の再生を繰り返すなど、所持する石器と原石・素材の状況に応じた石器構成が見て取れる。尖頭器と石刃の両者とも製作痕跡に乏しく、石器の再生は石器石材の乏しい地域を通過する際に有効

な作業形態であったと考えられる。そこには、「砂川期」石器群に典型的な原石を計画的に順次消費していく石器製作活動はすでに見られない。相模野台地のようなナイフ形石器と尖頭器の形態的類似性は不明であるが、新田浩三が提示した、ナイフ形石器の再生、再利用から有樋尖頭器への変化をも視野に入れて検討すべきであろう（文献A1994-52）。

東内野型有樋尖頭器はナイフ形石器群の終末期に重なるが、尖頭器を伴わない遺跡も散見される。山武郡芝山町香山新田新山遺跡、木更津市小谷遺跡では、小型幾何形のナイフ形石器だけがまとまって出土している。小谷遺跡では、嶺岡産頁岩やメノウを用い、剥片生産と石器製作を行っている。尖頭器とナイフ形石器の製作機会が異なっていることを示している。相模野台地でも小型幾何形ナイフ形石器が尖頭器と伴わずに見られることがあり（寺尾遺跡第Ⅲ文化層）、共通した廃棄形態であろう。

一方、東内野型尖頭器をもつ石器群や終末期のナイフ形石器群に併行・後続すると考えられる尖頭器石器群に、黒曜石製の小型木葉形尖頭器（市原市武士遺跡第7文化層B、船橋市西の台遺跡第1～5ユニット、山武郡大網白里町大網山田台No.1地点、成田市東峰西笠峰遺跡、山武郡芝山町浅間台遺跡）、嶺岡産頁岩による周辺調整尖頭器（千葉市南河原坂第3遺跡D地点）などがある。また、東北産頁岩による中・小型の両面調整木葉形の尖頭器（四街道市池花遺跡第3文化層、船橋市西の台遺跡第6ユニット）も近い時期と考えられ、概ね、相模野Ⅳ期後半からⅤ期前半に相当しよう。黒曜石製の一群は、信州産を利用するもの（西の台遺跡、東峰西笠峰遺跡、武士遺跡第7文化層B）と高原山産を利用するもの（大網山田台No.1遺跡、浅間台遺跡）があり、前者の方が調整加工が細かく形状が整った印象をもつものの、小型幅広の木葉形で片面調整や周辺調整を含むなど共通点が多い。いずれも、有樋尖頭器、ナイフ形石器、石刃をほとんど伴わず、石器群の構成が尖頭器に偏っている点で共通する。石器石材との強い結びつきがあり、互いの型式的連続性が伺えないことから、単純に編年的上下関係で捉えることはできない。尖頭器の大きさについては、使用石材に規制されていた可能性があり、これも編年の指標になるか疑問である。

以上、ナイフ形石器の終末期から細石刃石器群出現前には、多様な尖頭器石器群が見られることになる。同一集団にあっても、入手し得る石材の大きさと遺跡を残した時点での石器及び石器石材の保有状況に応じて各種製作技術を用いることになり、その結果、多様とも思える遺跡が残されたのではないだろうか。また、異なる集団にあっては、それぞれ有効に資源を活用し得る生活空間をもち、季節的に周回していたと考えられるが、広域にわたって周回する経路の異なる集団が房総半島においても交差していた可能性がある。南河原坂第3遺跡D地点や池花遺跡を除くと小型の尖頭器に偏った内容であり、これは房総半島の特性なのであろう。

5. 土器出現期の尖頭器について

土器出現期を大きく二つに分けると、前半は、「神子柴・長者久保文化」や「本ノ木型尖頭器」と呼ばれるもの（第5期）、後半は隆線文土器に伴う有舌尖頭器を特徴とする石器群（第6期）である。

房総半島では、隆線文土器に先行する土器が出土していないが、同時期に帰属すると考えられる資料がある。まず、第1は神子柴・長者久保文化に該当する資料で、野田市本郷A遺跡や千葉市六通神社南遺跡などが代表的な例である。また、成田市円妙寺遺跡では、ソフトローム層最上部から大型の石刃を含む尖頭器石器群が出土しており、同類と考えられる。しかし、これらを除くと、大・中型尖頭器の単独資料が圧倒的に多く、詳細は明らかでない。一方、「本ノ木型尖頭器」を指標とする石器群については良好な資

料がある。千葉市弥三郎第2遺跡、柏市元割遺跡、四街道市木戸先遺跡、印旛郡富里町南大溜袋遺跡などがあげられる。頁岩、凝灰岩、砂岩など粗粒な石材を用いた極めて細身の尖頭器で、部分的な修正を除くと遺跡内で石器製作を行った痕跡は見られない。石器組成は、弥三郎第2遺跡や元割遺跡で抉入削器を含む削器類が少量見られる他は、尖頭器に著しく偏った単純な構成である。この尖頭器の製作技術については、東京都前田耕地遺跡の出土資料が詳細に検討され、大型の原石から少数の製品を得たことがわかっている（文献A1985-13）。石材のムダが多いことから、原産地に偏った製作作業が想定され、前田耕地遺跡や本ノ木遺跡は、その具体例である。当地域の出土例は、原産地から大きく離れた消費地遺跡に限られたものである。遺跡間の等質性が大きく崩れ、活動内容の分散化が顕著な時期である。

後半期になると、製作痕跡の顕著な遺跡が見られるようになる。市原市南原遺跡、香取郡多古町一鉢田甚兵衛山南遺跡では、拳大程度までの小型の安山岩円礫を分割し、有舌尖頭器を製作している。富津市前三舟台遺跡では、さらに小振りの安山岩円礫を素材として有舌尖頭器を製作している。この遺跡の特徴は、素材の円礫が小型のためか、両極打撃を用いて素材剥片を生産している点である。両極打撃は、房総半島東北部の立川ローム層Ⅸ層上部からⅦ層及び縄文時代石器群に顕著な手法である。近在で産出する砂礫層中の小型チャート礫を多用しており、石器石材の欠乏を補う手法と指摘されている。本遺跡でも、尖頭器の製作が可能な最も小振りの円礫を素材にしている点で共通するようである。石材の入手については明らかではないが、拳大程度までの中・小型の安山岩円礫は上総丘陵の砂礫層中においても確認されており、房総半島南半部で入手した可能性がある。有舌尖頭器は、側縁形、基部と茎の形状、鋸歯状縁が一定量見られ、斜行平行剥離が乏しいことなどから、小瀬が沢型に分類される例が多い。

前半期は、石器石材の原産地と消費地との対照性が明瞭で、房総半島内では全くといって良いほど石器製作作業の形跡は見られない。それが、後半期になると、一転して身近な石器石材を用いて石器製作を行っている。湧別技法に連続する北方系石器群の色合いが濃く、遠隔地石材を用いる時期と地元石材を多用する時期の対照性については、環境に限定した議論は成り立たないが、人々の主たる移動範囲と活動内容に連絡しているのであろう。

6. おわりに

尖頭器出現以前のⅥ層石器群は遠隔地石材を多用しているが、Ⅳ層下部の尖頭器出現期になると地元産石材が主体となる。尖頭器をもつ遺跡が広がりを見せる「砂川期」と後続すると考えられる東内野型有楯尖頭器、あるいはその他の尖頭器石器群には様々な石器石材が見られるが、これも詳細に検討すれば遠隔地石材と地元石材のいずれかが主体となり、それは移動範囲と連動してこよう。

近年、寒冷地適応の石器として注目される搔器の動向についても、それがどのような環境に適応するのかは別として、Ⅳ層下部、東内野型有楯尖頭器、土器出現期後半に顕著に出現しており、増減には波がある。環境、石器製作、変化する石器形態と型式、石器石材の相互関係を整理することが、複雑な石器群の変遷とそのあり方を解明する鍵となる。

附章 資料・データ集

第1節 尖頭器出土遺跡分布地図・地名表

1. 尖頭器出土遺跡地名表

地名表で用いた遺跡番号、地形区分、分水界区分について記す。

凡 例

- 1) 地名表の遺跡番号は、市町村番号2桁と、各市町村ごとの遺跡の通し番号2桁で表示した。また、同一遺跡内については、基本的にブロック(石器集中地点)を単位として作成した。遺跡内にブロックが1か所の場合、あるいは単独出土資料に限定される場合は01を、複数のブロックが分布する場合は、その実数を遺跡番号の後に2桁で表示した。ブロックごとの内容が不明な場合は、文化層等を単位とした。従って、各遺跡各ブロックは6桁で表示した。

例) 271001は、四街道市御山遺跡第20ブロックを表わしている。はじめの27が四街道市、次の10が遺跡の通し番号で、四街道市の10番目の遺跡を示している。2710までが御山遺跡の固有番号である。最後の01は遺跡内の単位で、御山遺跡の第20ブロックを指している。

- 2) 各遺跡の立地は、下記の文献を参考にして、次の地形区分を用いた。K(丘陵)、S(下総上位面)、M1(下総下位面、小原台面)、M2(千葉第一段丘、三崎面)、Tc(千葉第二段丘、南総面)、C(沖積平野)である。

・八木令子 1996年「第1節 地形」『千葉県の自然誌 本編1 千葉県の自然』、63-75頁、財団法人千葉県史料研究財団

- 3) 各遺跡の地域区分は、下記の文献を参考にして、次の分水界区分を用いた。A(太平洋-東京湾分水界以北土気-銚子分水界以西)、B(太平洋-東京湾分水界以西津森山-鋸山分水界以北)、C(太平洋-東京湾分水界以東清澄山-大原分水界以北)、D(太平洋-東京湾分水界以西津森山-鋸山分水界以南)、E(太平洋-東京湾分水界以東清澄山-大原分水界以南)である。

・楡井 久 1996年「第3節 湖沼・河川」『千葉県の自然誌 本編1 千葉県の自然』、89-99頁、財団法人千葉県史料研究財団

- 4) 市町村番号と各市町村内の遺跡数は以下の通りである。

千葉県 80市町村の内51市町村(469遺跡)

東葛地区 10市町(69遺跡)

01東葛飾郡関宿町(1遺跡)、02野田市(6遺跡)、03流山市(10遺跡)、04柏市(12遺跡)、05我孫子市(4遺跡)、06東葛飾郡沼南町(2遺跡)、07松戸市(13遺跡)、08鎌ヶ谷市(7遺跡)、09市川市(5遺跡)、10船橋市(9遺跡)

千葉市・市原市 2市(94遺跡)

13千葉市(59遺跡)、14市原市(35遺跡)

君津地区 4市(60遺跡)

15袖ヶ浦市(33遺跡)、16木更津市(21遺跡)、17君津市(1遺跡)、18富津市(5遺跡)

印旛地区・八千代市 12市町村(164遺跡)

19白井市 (10遺跡), 20印西市 (11遺跡), 21印旛郡栄町 (1遺跡), 22印旛郡本埜村 (4遺跡), 23印旛郡印旛村 (8遺跡), 24成田市 (45遺跡), 25八千代市 (17遺跡), 26佐倉市 (26遺跡), 27四街道市 (14遺跡), 28印旛郡酒々井町 (6遺跡), 29印旛郡富里町 (19遺跡), 30八街市 (3遺跡)

香取・海匠地区 11市町 (42遺跡)

31香取郡下総町 (4遺跡), 32香取郡神崎町 (1遺跡), 33香取郡大栄町 (8遺跡), 34佐原市 (6遺跡), 35香取郡小見川町 (3遺跡), 36香取郡東庄町 (4遺跡), 37銚子市 (2遺跡), 40香取郡干潟町 (4遺跡), 42香取郡山田町 (2遺跡), 43香取郡栗源町 (1遺跡), 44香取郡多古町 (7遺跡)

山武地区・八日市場市 7市町 (31遺跡)

45山武郡芝山町 (9遺跡), 46八日市場市 (2遺跡), 49山武郡横芝町 (6遺跡), 51山武郡松尾町 (2遺跡), 52山武郡山武町 (3遺跡), 54東金市 (5遺跡), 56山武郡大網白里町 (4遺跡)

長生・夷隅地区 5市町 (9遺跡)

59茂原市 (1遺跡), 60長生郡長柄町 (2遺跡), 67夷隅郡御宿町 (1遺跡), 68勝浦市 (4遺跡), 69夷隅郡大多喜町 (1遺跡)

2. 尖頭器出土遺跡石器属性表

尖頭器出土遺跡石器属性表は、上記地名表と対応する。石器形態及び石器石材の分類は、基本的に各報告書に従ったが、一部は独自の分類を行っている。

凡 例

1) 尖頭器及びナイフ形石器の形態については、独自に分類した。

・尖頭器は、4種類に分類した。尖頭器Aは各種木葉形・柳葉形尖頭器、尖頭器Bは有樋尖頭器 (面取尖頭器)、尖頭器Cは有舌尖頭器で、これ以外に尖頭器未製品の項を設けた。

・ナイフ形石器は、3種類に分類した。ナイフ形石器Aは石刃素材の2側縁調整、ナイフ形石器Bは横長剥片や一般的な剥片を用いた切出形、小型幾何形に対応する。ナイフ形石器CはA・B以外を一括した。

2) 石器石材については、実見した結果、頁岩を中心に独自に分類したものがある。

・頁岩は、4種類に分類した。頁岩Aは東北地方南部の女川層群に由来すると考えられる、褐色で硬質緻密のもの、頁岩Bは房総半島南部嶺岡山系の白滝層群に由来すると考えられる、灰緑色を基調とする硬質なもの、頁岩CはA・B以外を一括した。なお、報告書等の検索だけで実見していないものについては頁岩Dとした。なお、珪質頁岩という区分は用いず、上記のいずれか、またはチャートに分類した。また、各種安山岩、あるいは玄武岩は安山岩と、メノウ・玉髄等はメノウと略表記した。

3. 尖頭器出土遺跡分布地図

房総半島で尖頭器石器群が出土している遺跡を1/50万の地形図に表示した上で、主要な分布域について、拡大図7枚を掲載した。

凡 例

分布地図の遺跡番号は遺跡地名表と対応しており、市町村番号2桁と、各市町村ごとの遺跡の通し番号2桁を合わせて、4桁で表示した。

第15表 尖頭器出土遺跡地名表

遺跡番号	遺跡名	ブロック名	所在地	地形区分	分水界	標高	層位	文献
010101	下根遺跡	表探	東葛飾郡関宿町木間ヶ瀬字宇志部前1810-3	M1	A	15.0m	表土	A1982-27
020101	本郷遺跡A地点	石器集中	野田市西三ヶ尾字本郷	M1	A	13.0m	不明	A1980-40,A1984-70,A1992-83
020201	上原遺跡	石器集中	堀根新田字上原99	M1	A	15.5m	不明	A1985-58,A1992-83
020301	横の内遺跡	表探	字横の内2245	M1	A	13.0m	表土	A1987-65
020302	横の内遺跡	単独出土	字横の内2245	M1	A	13.0m	III層	A1987-65
020401	三ツ堀六畝遺跡	表探	三ツ堀字六畝	M1	A	15.5m	表土	A1987-66,A1992-83
020501	尾崎南遺跡	第Vﾌﾞｯｸ	尾崎字南谷原	M1	B	13.0m	不明	A1989-53,A1992-83
020601	岩名第14遺跡	単独出土	岩名地先273-1ほか	M1	B	14.0m	III層上	A1994-55
030101	中野久木遺跡	単独出土	流山市中野久木	M1	B	20.0m	不明	A1974-18,A1983-28
030201	鷹の見遺跡	単独出土	思井赤松606	M1	B	23.0m	不明	A1978-33
030301	桐ヶ谷新田遺跡	石器集中	西初石桐ヶ谷新田3-1464ほか	M1	B	20.5m	II~III層	A1979-20,A1984-70,A1992-83
030401	西深井一ノ割遺跡	単独出土	西深井67-1ほか	M1	B	18.0m	II層下	A1980-37,A1983-28,A1999-75
030501	長崎遺跡	単独出土	長崎字アジャリ谷73-1ほか	M1	B	20.0m	不明	A1985-52
030601	若葉台遺跡	単独出土	大字桐ヶ谷南割144ほか	M1	B	18.0m	不明	A1986-44
030701	三輪野山第III遺跡	表探	三輪野山字北浦570-2ほか	M1	B	18.0m	表土	A1988-57
030801	平和台遺跡	単独出土	平和台4-1597ほか	M1	B	20.0m	不明	A1993-69
030901	上貝塚貝塚	第17ﾌﾞｯｸ	上貝塚字稲荷内7-1ほか	M1	B	17.0m	III層	A1996-48
030902	上貝塚貝塚	単独出土	上貝塚字稲荷内7-1ほか	M1	B	17.0m	不明	A1996-48
031001	三輪野山第II遺跡	第67ﾌﾞｯｸ	三輪野山字道六神511-1ほか	M1	B	18.0m	III層	A1996-48
031002	三輪野山第II遺跡	単独出土	三輪野山字道六神511-1ほか	M1	B	18.0m	不明	A1996-48
040101	水砂遺跡	D7ﾌﾞｯｸ	柏市大青田字水砂1545ほか	M1	A	16.0m	III~V層	A1982-19
040201	花前II-1遺跡	表探	船戸字新町1472	M1	A	16.0m	表土	A1982-19
040301	高砂遺跡	表探	船戸山高野字高砂	M1	A	17.0m	表土	A1983-24
040401	山田台遺跡(第二次調査)	単独出土	戸張883ほか	M1	A	20.0m	遺構覆土	A1984-16
040501	中山新田II-3遺跡	単独出土	大青田字八両野744ほか	M1	A	16.0m	不明	A1984-29
040601	中山新田III遺跡	単独出土	大青田字八両野744ほか	M1	A	16.0m	不明	A1984-29
040701	矢船遺跡	第117ﾌﾞｯｸ	船戸字矢船1519ほか	M1	A	16.0m	III層	A1985-36
040702	矢船遺跡	表探	船戸字矢船1519ほか	M1	A	16.0m	表土	A1985-36
040801	元割遺跡	No.1地点A	青田新田飛地字元割212ほか	M1	A	17.5m	IIc層下	A1986-43
040802	元割遺跡	No.1地点B	青田新田飛地字元割212ほか	M1	A	17.5m	IIc層下	A1986-43
040901	聖人塚遺跡	第67ﾌﾞｯｸ	大青田字聖人塚694ほか	M1	A	18.0m	III層	A1986-43
040902	聖人塚遺跡	表探	大青田字聖人塚694ほか	M1	A	18.0m	表土	A1986-43
041001	中山新田I遺跡	表探	十余2572ほか	M1	A	25.0m	表土	A1986-43
041101	今泉遺跡	単独出土	篠籠田字小町1373-3ほか	M1	A	19.0m	不明	A1987-20
041201	呼塚遺跡	単独出土	柏字長山290-1ほか	M1	A	14.0m	不明	A1995-21
050101	日秀西遺跡	単独出土	我孫子市日秀	M1	A	19.0m	不明	A1980-24
050201	布佐余間戸遺跡	単独出土	布佐余間戸	M1	A	20.0m	不明	A1981-10
050301	鹿島前遺跡	単独出土	中峠台30ほか	M1	A	19.0m	不明	A1981-8,A1992-83
050401	北大作遺跡	石器集中	布佐字北大作876ほか	M1	A	20.0m	III層	A1995-15
060101	天神向原遺跡	表探	東葛飾郡沼南町大井字天神向原1916ほか	M1	A	24.0m	表土	A1984-39
060201	大井東山遺跡	単独出土	大井2044-1ほか	M1	A	18.0m	遺構覆土	A1987-43
070101	子和清水遺跡	表探	松戸市日暮7丁目、牧の原2丁目	S	B	26.0m	不明	A1974-23
070201	下水遺跡(和名ヶ谷下水)	表探	和名ヶ谷下水不動前	S	B	27.0m	表土	A1974-23
070301	子和清水遺跡	表探	日暮子和清水	S	B	26.0m	表土	A1968-8,A1974-23
070401	初富飛地II遺跡(元山)	表探	初富飛地	S	B	23.0m	表土	A1974-23
070501	幸田遺跡	表探	幸田寺台	M1	B	18.0m	表土	A1974-23
070601	内山遺跡	表探	大橋内山	S	B	25.0m	表土	A1974-23
070701	岩瀬塚田遺跡	表探	岩瀬442	S	B	26.0m	表土	A1994-56
070801	境外II遺跡	1号7ﾌﾞｯｸ	根本356	S	B	23.5m	III層	A2000-23
070802	境外II遺跡	2号7ﾌﾞｯｸ	根本356	S	B	23.5m	III層	A2000-23
070803	境外II遺跡	単独出土	根本356	S	B	23.5m	不明	A2000-23
070901	串崎新田遺跡	表探	串崎新田	S	B	25.0m	不明	A1968-28
071001	寒風遺跡	表探	千駄堀寒風	S	B	30.0m	不明	A1968-28
071101	出来山遺跡	表探	出来山	S	B	25.5m	不明	A1968-28
071201	坂之台(大坂台)遺跡	表探	紙敷大坂台	S	B	23.5m	不明	A1968-28
071301	陣ヶ前貝塚	表探	陣ヶ前	S	B	22.0m	不明	A1968-28,A1976-27
080101	一本松遺跡	単独出土	鎌ヶ谷市中沢字一本松1301ほか	S	A	28.0m	不明	A1997-17
080201	双賀辺田No.1遺跡	単独出土	中沢1027	S	A	26.0m	不明	A1988-31
080301	五本松遺跡	単独出土	大字初富字五本松923-1ほか	S	A	22.0m	不明	A1989-38
080401	上葉貫台遺跡	単独出土	葉野上葉貫台747-2ほか	S	A	26.0m	III層	A1989-38
080501	落山遺跡	第67ﾌﾞｯｸ	軽井沢落山1982-8ほか	S	A	27.0m	III層	A1989-38
080502	落山遺跡	表探	軽井沢落山1982-8ほか	S	A	28.0m	表土	A1989-38
080601	林跡遺跡	単独出土	初富字林跡928-1827ほか	S	A	26.0m	不明	A1982-38,A1992-50
080701	五本松No.3遺跡	石器集中	初富字五本松	S	A	27.5m	III層	未報告
090101	殿台遺跡	単独出土	市川市大野町4-2852-1	S	B	22.0m	III層	A1970-8
090201	美野輪台遺跡	単独出土	本北方3-52	M1	B	19.0m	第II層	A1975-20
090301	株木B遺跡第2地点	単独出土	柏井町4-356-1	S	B	16.0m	遺構覆土	A1983-21
090401	堀之内・権現原地区	137ﾌﾞｯｸ	北国分町2839-1	S	B	25.0m	不明	A1987-16
090402	堀之内・権現原地区	167ﾌﾞｯｸ	北国分町2839-1	S	B	25.0m	不明	A1987-16
090403	堀之内・権現原地区	単独出土	北国分町2839-1	S	B	25.0m	不明	A1987-16
090501	庚塚遺跡第5地点	単独出土	曾谷2-366-1369	M1	B	22.0m	不明	A1997-16
100101	習志野自衛隊演習場	表探	船橋市習志野	S	A	30.0m	不明	A1972-4
100201	飛ノ台貝塚	単独出土	海神町字飛ノ台	M1	B	20.0m	不明	A1978-30
100301	沢之台遺跡	単独出土	七林町116-6	M1	B	29.0m	III層直上	A1980-27
100401	西の台遺跡	エ271	二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	III層上	A1985-63,A1992-83
100402	西の台遺跡	エ272	二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	III層上	A1985-63,A1992-83
100403	西の台遺跡	エ273	二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	III層上	A1985-63,A1992-83
100404	西の台遺跡	エ274	二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	III層上	A1985-63,A1992-83
100405	西の台遺跡	エ275	二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	III層上	A1985-63,A1992-83
100406	西の台遺跡	エ276	二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	III層上	A1985-63,A1992-83

遺跡番号	遺跡名	ブロック名	所在地	地形区分	分水系	標高	層位	文献
100407	西の台遺跡	ユニット7	船橋市二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	Ⅲ層上	A1985-63,A1992-83
100408	西の台遺跡	単独出土	" 二和町10-23ほか	M1	B	15.0m	Ⅲ層上	A1985-63,A1992-83
100501	海神台西遺跡	石器集中	" 海神5-205-2ほか	M1	B	16.0m	不明	A1990-52
100502	海神台西遺跡	単独出土	" 海神5-205-2ほか	M1	B	16.0m	不明	A1990-52
100601	上台遺跡	単独出土	" 小室町1365-2-1366-1	M1	A	20.0m	不明	A1991-72
100701	古作中台遺跡	単独出土	" 古作1-415-2ほか	M1	B	20.0m	不明	A1995-40
100801	中ノ票遺跡	表探	" 飯山満町2-519ほか	M1	B	24.0m	表土	A1996-59
100901	夏見台遺跡	単独出土	" 夏見町556-1	M1	B	20.0m	不明	A1968-8
130101	加曾利貝塚	単独出土	千葉市若葉区桜木町135-10ほか	S	B	20.5m	Ⅱ～Ⅲ層	A1966-6
130201	兼坂遺跡	単独出土	" 中央区都町兼坂	S	B	28.0m	不明	A1973-12,A1976-61
130301	正善院裏遺跡	単独出土	" 稲毛区作草部町字屋敷	M1	B	18.0m	不明	A1974-34,A1976-61
130401	藤立貝塚G地点付近	単独出土	" 若葉区千城台西2丁目、藤立	S	B	34.0m	不明	A1974-34,A1976-61
130501	耳切遺跡	単独出土	" 若葉区貝塚町耳切	S	B	18.0m	表土	A1974-34,A1976-61
130601	外野遺跡	単独出土	" 若葉区大草町字外野(遺跡地図●無)	S	B	34.0m	不明	A1974-34
130701	中野僧堂遺跡	単独出土	" 若葉区中野町1224	S	B	50.0m	不明	A1976-37
130801	菅田栗立コロ二内遺跡	単独出土	" 緑区菅田47-6ほか	S	B	49.0m	不明	A1976-39
130901	大作遺跡	表探	" 若葉区桜木町大字	S	B	30.0m	不明	A1976-61
131001	立木南遺跡	表探	" 若葉区加曾利町字立木	S	B	29.0m	不明	A1976-61
131101	築地台貝塚	単独出土	" 緑区平山町向塚町	S	B	38.5m	遺構覆土	A1978-20
131201	城之腰遺跡	表探	" 若葉区大宮町城之腰	S	B	24.0m	表土	A1979-26
131301	ムコアラク遺跡	T01	" 緑区大金沢町888ほか	S	B	45.0m	Ⅲ層	A1979-25
131302	ムコアラク遺跡	T05,T06	" 緑区大金沢町888ほか	S	B	45.0m	Ⅲ層	A1979-25
131401	六通遺跡	単独出土	" 緑区椎名崎町藤堀	S	B	41.0m	不明	A1980-26
131501	加曾利貝塚	単独出土	" 若葉区桜木町135-10ほか	S	B	33.0m	遺構覆土	A1981-19
131601	バクチ穴遺跡	単独出土	" 緑区大金沢町134	S	B	50.0m	不明	A1983-32
131701	エゴダ遺跡	単独出土	" 稲毛区小中台1541	M1	B	23.5m	不明	A1985-41
131801	辺田山谷遺跡	表探	" 緑区辺田町579-2	S	B	47.0m	表土	A1986-45
131901	小中台遺跡	石器集中	" 稲毛区小中台町356ほか	M1	B	27.5m	Ⅲ層	A1987-42
132001	子和清水遺跡	第1地点	" 花見川区三角町744ほか	S	B	23.0m	Ⅱ～Ⅲ層	A1987-46
132002	子和清水遺跡	第2地点	" 花見川区三角町744ほか	S	B	24.0m	Ⅲ層	A1987-46
132003	子和清水遺跡	第3地点	" 花見川区三角町744ほか	S	B	23.0m	Ⅲ層	A1987-46
132004	子和清水遺跡	表探	" 花見川区三角町744ほか	S	B	24.0m	表土	A1987-46
132101	房地遺跡	単独出土	" 稲毛区宮野木町1928	S	B	22.5m	不明	A1987-46
132201	餅ヶ崎遺跡	単独出土	" 若葉区源町258ほか	S	B	26.0m	遺構覆土	A1988-45
132301	辰ヶ台遺跡	単独出土	" 緑区小食土町822ほか	S	B	98.0m	遺構覆土	A1989-40
132401	地蔵山遺跡	単独出土	" 中央区千歳寺町603ほか	M1	B	23.0m	Ⅱ層	A1992-47
132501	立山城跡	単独出土	" 緑区大木戸町1038-2ほか	S	B	77.5m	不明	A1992-55
132601	南河原坂第2遺跡	7'ロツク	" 緑区小食土町1178	S	B	92.5m	Ⅲ～Ⅳ層上	A1992-52
132602	南河原坂第2遺跡	単独出土	" 緑区小食土町1178	S	B	92.5m	不明	A1992-52
132701	大椎第2遺跡	単独出土	" 緑区大椎町、小食土町	S	B	86.0m	Ⅲ下～Ⅳ層	A1992-52
132801	文六第4遺跡	第27'ロツク	" 緑区小食土町文六	S	B	88.0m	Ⅳ層上～中	A1992-52
132802	文六第4遺跡	単独出土	" 緑区小食土町文六	S	B	88.0m	遺構覆土	A1992-52
132901	榎作遺跡	単独出土	" 中央区赤井町榎作619ほか	M1	B	30.0m	遺構覆土	A1992-48
133001	赤坂遺跡	第17'ロツク	" 緑区板倉町156-1ほか	S	B	78.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133002	赤坂遺跡	第27'ロツク	" 緑区板倉町156-1ほか	S	B	77.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133003	赤坂遺跡	第37'ロツク	" 緑区板倉町156-1ほか	S	B	77.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133004	赤坂遺跡	第47'ロツク	" 緑区板倉町156-1ほか	S	B	77.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133101	観音地遺跡	第17'ロツク	" 緑区小山市278ほか	S	B	79.5m	Ⅳ層上	A1992-54
133102	観音地遺跡	第27'ロツク	" 緑区小山市278ほか	S	B	79.5m	Ⅳ層上	A1992-54
133201	上鹿子遺跡	第17'ロツク	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133202	上鹿子遺跡	第47'ロツク	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133203	上鹿子遺跡	第87'ロツク	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.2m	Ⅳ層上	A1992-54
133204	上鹿子遺跡	第117'ロツク	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.2m	Ⅳ層上	A1992-54
133205	上鹿子遺跡	第127'ロツク	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133206	上鹿子遺跡	第137'ロツク	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133207	上鹿子遺跡	第167'ロツク	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.0m	Ⅳ層上	A1992-54
133208	上鹿子遺跡	単独出土	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.0m	遺構覆土	A1992-54
133301	中鹿子第2遺跡	表探	" 緑区小山市265ほか	S	B	99.0m	表土	A1992-54
133401	弥三郎第2遺跡	石器集中	" 緑区大椎町弥三郎二番地575ほか	S	B	99.0m	Ⅳ層上	A1984-70,A1992-53
133501	坂ノ越遺跡	単独出土	" 緑区大椎町1057-1ほか	S	B	95.0m	Ⅳ層上	A1993-54
133601	弥三郎第1遺跡	単独出土	" 緑区大椎町561ほか	S	B	93.0m	不明	A1993-55
133701	文六第1遺跡	第17'ロツク	" 緑区小食土町1165-13ほか	S	B	95.0m	Ⅳ層上	A1993-55
133702	文六第1遺跡	第67'ロツク	" 緑区小食土町1165-13ほか	S	B	93.0m	Ⅳ層上	A1993-55
133703	文六第1遺跡	第77'ロツク	" 緑区小食土町1165-13ほか	S	B	93.0m	Ⅳ層上	A1993-55
133704	文六第1遺跡	単独出土	" 緑区小食土町1165-13ほか	S	B	95.0m	不明	A1993-55
133801	鎌取遺跡	単独出土	" 緑区鎌取町鎌取761-2ほか	S	B	40.0m	不明	A1993-50
133901	大野遺跡	単独出土	" 緑区大木戸町1215-3	S	B	73.0m	不明	A1994-54
134001	南大野第4遺跡	単独出土	" 緑区大木戸町1195-5	S	B	81.0m	不明	A1994-54
134101	草刈場北遺跡	単独出土	" 若葉区貝塚町1091-2ほか	S	B	29.0m	Ⅳ層上	A1995-42
134201	直道遺跡	単独出土	" 花見川区浪花町953-1	M1	B	20.0m	遺構覆土	A1995-41
134301	南河原坂第3遺跡A地点	単独出土	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134401	南河原坂第3遺跡C地点	第17'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134402	南河原坂第3遺跡C地点	第27'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134403	南河原坂第3遺跡C地点	第37'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134404	南河原坂第3遺跡C地点	第57'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134405	南河原坂第3遺跡C地点	第67'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134406	南河原坂第3遺跡C地点	第77'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134407	南河原坂第3遺跡C地点	第117'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51
134408	南河原坂第3遺跡C地点	単独出土	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	不明	A1996-51
134501	南河原坂第3遺跡D地点	第17'ロツク	" 緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	Ⅳ層上	A1996-51

遺跡番号	遺跡名	ブロック名	所在地	地形区分	分水路	標高	層位	文献
134502	南河原坂第3遺跡D地点	第27'ロツク	千葉市緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134503	南河原坂第3遺跡D地点	3・47'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134504	南河原坂第3遺跡D地点	第57'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134505	南河原坂第3遺跡D地点	第67'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134506	南河原坂第3遺跡D地点	第77'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134507	南河原坂第3遺跡D地点	第87'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134508	南河原坂第3遺跡D地点	第97'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134509	南河原坂第3遺跡D地点	第117'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134510	南河原坂第3遺跡D地点	第127'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134511	南河原坂第3遺跡D地点	第147'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134512	南河原坂第3遺跡D地点	単独出土	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	不明	A1996-51
134601	南河原坂第3遺跡E地点	I文17'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134602	南河原坂第3遺跡E地点	I文27'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134603	南河原坂第3遺跡E地点	I文37'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134604	南河原坂第3遺跡E地点	I文47'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134605	南河原坂第3遺跡E地点	I文57'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134606	南河原坂第3遺跡E地点	I文77'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134607	南河原坂第3遺跡E地点	単独出土	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	不明	A1996-51
134701	南河原坂第3遺跡G地点	I文17'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134702	南河原坂第3遺跡G地点	I文27'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134703	南河原坂第3遺跡G地点	I文37'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134704	南河原坂第3遺跡G地点	I文47'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134801	南河原坂第3遺跡H地点	II文17'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134802	南河原坂第3遺跡H地点	II文27'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134901	南河原坂第3遺跡J地点	I文17'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134902	南河原坂第3遺跡J地点	II文17'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
134903	南河原坂第3遺跡J地点	II文37'ロツク	緑区小食土町1180-19ほか	S	B	92.0m	ⅡF0-D	A1996-51
135001	台畑遺跡	単独出土	若葉区原町168	S	B	21.0m	不明	A1996-52
135101	高品城跡	単独出土	若葉区高品町469-1ほか	S	B	24.0m	不明	A1997-36
135201	牛尾州遺跡	単独出土	稲毛区小中台町382ほか	S	B	25.0m	表土	A1997-35
135301	有吉遺跡(第4次)	第17'ロツク	緑区南生実1569-1ほか	S	B	26.5m	II~III層	A1999-28
135401	六通金山遺跡	単独出土	緑区小金沢町480ほか	S	B	19.0m	不明	未報告
135501	六通神社南遺跡	石器集中	緑区小金沢町948-20ほか	S	B	20.0m	不明	未報告
135601	御塚台遺跡	単独出土	緑区小金沢町	S	B	19.0m	不明	未報告
135701	高沢遺跡	単独出土	緑区生実町高沢	S	B	20.0m	III層	A1990-69
135801	有吉北貝塚	表探	緑区有吉町730ほか	S	B	24.0m	表土	A1998-80
135901	蟹谷津遺跡	単独出土	中央区千葉寺町758ほか	M1	B	18.0m	遺構覆土	未報告
140101	大庭遺跡	単独出土	市原市大庭	M2	B	30.0m	表土	A1974-11
140201	南向原遺跡	単独出土	国分寺中央6丁目	M1	B	27.0m	表土	A1976-29
140301	萩ノ原遺跡	単独出土	上高根字萩の原	M1	B	90.0m	表土	A1977-27
140401	唐崎台遺跡	単独出土	能満字背蟬尻1322ほか	M1	B	30.0m	ハートロム	A1979-58
140501	ばあ山遺跡	単独出土	草刈字大峠1885-1ほか	S	B	35.0m	表土	A1980-25
140601	草刈遺跡A区	単独出土	草刈字下切付1149ほか	S	B	35.0m	表土・IV層	A1983-33
140701	鶴牧古墳群	第1群	草刈字鶴牧1690ほか	S	B	30.0m	表土	A1983-33
140702	鶴牧古墳群	単独出土	草刈字鶴牧1690ほか	S	B	30.0m	表土	A1983-33
140801	南総中学遺跡	単独出土	牛久町江子田	Tc	B	50.0m	表土	A1978-19,A1984-70
140901	天神台遺跡	単独出土	惣社字天神台1176-2ほか	M1	B	20.0m	表土	A1984-70
141001	祇園原遺跡	単独出土	根田字祇園原473ほか	M1	B	25.0m	表土	A1984-70
141101	持塚古墳群	単独出土	西広360ほか	M1	B	30.0m	表土	A1984-70
141201	台遺跡	単独出土	加茂字字384ほか	M1	B	20.0m	表土	A1984-70
141301	西谷遺跡	単独出土	加茂字西谷353-1ほか	M1	B	20.0m	表土	A1984-70
141401	稲荷台遺跡	単独出土	山田橋字稲荷台40ほか	M1	B	30.0m	表土	A1984-70
141501	南原遺跡	第1次調査	中高根字南原1382-10	M1	B	80.0m	第II層	A1979-17,A1984-70
141502	南原遺跡	第2次調査	中高根字南原1382-10	M1	B	80.0m	第II層	A1980-13,A1984-70
141601	草刈遺跡M区	単独出土	草刈字下切付ほか	S	B	35.0m	III層	未報告
141701	門脇遺跡	単独出土	磯ヶ谷字門脇8ほか	Tc	B	50.0m	表土	A1985-40
141801	草刈遺跡B区	単独出土	草刈字下切付	S	B	35.0m	表土	A1986-48
141901	外迎山遺跡	単独出土	風戸字入口ノ沢1163ほか	M1	B	80.0m	表土	A1987-33
142001	北旭台遺跡	単独出土	磯ヶ谷字北旭台96-1ほか	Tc	B	60.0m	表土	A1988-26
142101	北旭台遺跡	単独出土	磯ヶ谷字北旭台96-1ほか	Tc	B	60.0m	表土	A1990-24
142201	草刈貝塚	単独出土	草刈字扇谷津1315-1ほか	S	B	35.0m	表土	A1990-32
142301	中水谷遺跡	単独出土	草刈字中水谷1762ほか	S	B	35.0m	表土	A1991-44
142401	ヤジ山遺跡	単独出土	深城字ヤジ山282-1ほか	M1	B	70.0m	表土	A2000-56
142501	細山(1)遺跡	単独出土	椎津字ハチ谷2970-1ほか	M1	B	65.0m	表土	A2000-56
142601	叶台遺跡	単独出土	新堀834ほか	Tc	B	20.0m	表土	A1992-33
142701	奉免上原台遺跡	単独出土	奉免字上原台1130ほか	M1	B	40.0m	表土	A1992-34
142801	草刈六之台遺跡	単独出土	草刈字六之台1308ほか	S	B	35.0m	表土	A1994-50
142901	武士遺跡	C6-88地点	福増字向台	M1	B	75.0m	III層	A1996-45
142902	武士遺跡	C8-34地点	福増字向台	M1	B	75.0m	III層	A1996-45
142903	武士遺跡	E0-98地点	福増字向台	M1	B	75.0m	III層	A1996-45
142904	武士遺跡	E0-85地点	福増字向台	M1	B	75.0m	III層	A1996-45
142905	武士遺跡	C7-73地点	福増字向台	M1	B	75.0m	III層	A1996-45
142906	武士遺跡	D7-80地点	福増字向台	M1	B	75.0m	III層	A1996-45
142907	武士遺跡	単独出土	福増字向台	M1	B	75.0m	表土	A1996-45
142908	武士遺跡	単独出土	福増字向台	M1	B	75.0m	III層	A1998-28
143001	南原遺跡	表探	中高根字向原1382-10	M1	B	80.0m	表土	A1998-13
143101	草刈遺跡C区	単独出土	草刈字上切付1263ほか	S	B	35.0m	表土	未報告
143201	草刈遺跡K区	単独出土	草刈字大宮台1140ほか	S	B	35.0m	表土	未報告
143301	草刈古墳群	単独出土	草刈字向瀬戸1732ほか	S	B	35.0m	表土	未報告
143401	押沼第1遺跡	単独出土	押沼字新田谷855-1ほか	S	B	60.0m	表土	未報告

遺跡番号	遺跡名	ブロック名	所在地	地形区分	分水系	標高	層位	文献
143501	押沼大穴遺跡	単独出土	市原市押沼字大穴826ほか	S	B	50.0m	表土	未報告
150101	川原井寺原台遺跡	単独出土	袖ヶ浦市永吉字西寺原	M2	B	70.0m	表土	A1979-33
150201	清水川台遺跡	単独出土	" 代宿字清水川台	M1	B	50.0m	不明	A1983-31
150301	鼻欠遺跡	単独出土	" 神納字鼻欠3205ほか	M2	B	28.0m	表土	A1984-53
150401	境遺跡	単独出土	" 下新田1270	M2	B	30.0m	表土	A1985-29
150501	境No.2遺跡	単独出土	" 下新田・三ツ作	M2	B	30.0m	表土	A1985-30
150601	永吉台No.2遺跡	単独出土	" 永吉字遠寺原410ほか	M2	B	70.0m	表土	A1985-31
150701	中穴遺跡	単独出土	" 蔵波字中穴1259-1ほか	M2	B	41.0m	III層	A1987-37
150702	中穴遺跡	単独出土	" 蔵波字中穴1259-1ほか	M2	B	41.0m	漸移層	A1987-37
150801	打越岱遺跡	単独出土	" 上泉字打越岱1270-1	M1	B	68.0m	表土	A1989-33
150901	荒田遺跡	単独出土	" 大竹字下南原297ほか	M2	B	79.0m	表土	A1991-40
151001	美生遺跡群第1地点	単独出土	" 久保田字小台々1061ほか	M2	B	43.0m	表土	A1992-39
151002	美生遺跡群第1地点	単独出土	" 久保田字小台々1061ほか	M2	B	43.0m	表土	A1992-39
151101	文船遺跡	単独出土	" 野里字西十二天1589ほか	Tc	B	40.0m	表土	A1992-40
151102	文船遺跡	単独出土	" 野里字西十二天1589ほか	Tc	B	40.0m	表土	A1992-40
151201	美生遺跡群第4地点	単独出土	" 久保田字小台々1068-1ほか	M2	B	44.0m	表土	A1993-38
151301	二又堀遺跡	単独出土	" 大竹字上又堀231-1ほか	M2	B	54.0m	表土	A1993-37
151401	中穴遺跡	単独出土	" 蔵波3003-9ほか	M2	B	42.0m	表土	A1993-39
151501	清水井遺跡	単独出土	" 高谷字清水井1511-2ほか	Tc	B	40.0m	表土	A1993-40
151502	清水井遺跡	単独出土	" 高谷字清水井1511-2ほか	Tc	B	40.0m	表土	A1993-40
151601	上大城遺跡	単独出土	" 久保田字五反田3613-1ほか	M2	B	40.0m	表土	A1994-35
151701	美生遺跡群第6地点	単独出土	" 久保田字須多連1394-1ほか	M2	B	44.0m	表土	A1994-36
151801	美生遺跡群第7地点	単独出土	" 久保田字須多連1394-3ほか	M2	B	47.0m	表土	A1994-36
151901	尾畑台遺跡	単独出土	" 下根岸字台654ほか	M2	B	60.0m	表土	A1994-34
152001	向神納里遺跡	単独出土	" 大竹字向神納里	M2	B	65.0m	表土	A1995-33
152101	寒沢遺跡第1地点	単独出土	" 永吉字寒沢773-1ほか	M2	B	80.0m	表土	A1996-38
152201	寒沢遺跡第3地点	単独出土	" 永吉字寒沢773-1ほか	M2	B	75.0m	表土	A1996-38
152301	寒沢遺跡第5地点	単独出土	" 永吉字寒沢773-1ほか	M2	B	75.0m	表土	A1996-38
152401	寒沢遺跡(確認調査)	単独出土	" 永吉字寒沢773-1ほか	M2	B	80.0m	表土	A1996-38
152501	堂庭山B遺跡	石器集中	" 蔵波312-1	M2	B	50.0m	III層	A1996-50
152502	堂庭山B遺跡	単独出土	" 蔵波312-1	M2	B	50.0m	表土	A1996-50
152601	蔵波六山遺跡	単独出土	" 蔵波字六山1055-1ほか	M2	B	42.0m	表土	A1997-46
152701	山王台遺跡	B2-85周辺	" 神納字山王台3868-1ほか	M2	B	20.0m	漸移層	A1998-42
152702	山王台遺跡	単独出土	" 神納字山王台3868-1ほか	M2	B	20.0m	漸移層	A1998-42
152801	雷塚遺跡	第27 Dヶ	" 神納字雷塚4136-2ほか	M2	B	35.0m	III層	A1999-21
152802	雷塚遺跡	単独出土	" 神納字雷塚4136-2ほか	M2	B	35.0m	表土	A1999-21
152901	根形台遺跡群第VII地点	単独出土	" 三ツ作	M2	B	30.0m	表土	A1998-5
153001	谷ノ台遺跡	単独出土	" 神納字谷ノ台2888-1ほか	M2	B	32.0m	表土	A1998-26
153101	豆作台遺跡第13地点	単独出土	" 代宿8	M1	B	55.0m	表土	A1998-5
153201	百々目木B遺跡	第17 Dヶ	" 飯富3566-17	M2	B	30.0m	III層下部	A1998-25,A1998-72
153301	西原遺跡	単独出土	" 永地字西原	Tc	B	20.0m	表土	A1999-20
160101	清水谷遺跡	単独出土	木更津市菅生字清水谷1063-7	M1	B	40.0m	表土	A1975-34
160201	西ノ根谷遺跡	単独出土	" 田川字西ノ根谷794-2ほか	M2	B	84.0m	表土	A1986-39
160301	花山遺跡	単独出土	" 矢那字花山2816ほか	M2	B	50.0m	表土	A1988-40
160302	花山遺跡	単独出土	" 矢那字花山2816ほか	M2	B	50.0m	表土	A1988-40
160401	マミヤク遺跡	単独出土	" 小浜字マミヤク60ほか	M1	B	55.0m	表土	A1989-34
160501	大山台遺跡	単独出土	" 請西字水瀬1874-2ほか	M2	B	53.0m	表土	A1990-20
160601	天神前遺跡	単独出土	" 矢那字天神前3729-1ほか	M2	B	50.0m	表土	A1992-41
160701	大畑台遺跡第3地点	単独出土	" 請西字大畑台	M1	B	60.0m	表土	A1993-43
160801	藪台III遺跡	単独出土	" 真理谷字藪台4318-5ほか	K	B	105.0m	表土	A1993-42
160901	花山遺跡	単独出土	" 矢那字花山2811-2	M2	B	50.0m	表土	A1993-22
161001	マミヤク遺跡	単独出土	" 小浜字マミヤク60ほか	M1	B	55.0m	表土	A1993-41
161101	林遺跡	単独出土	" 下郡字向高尾2241-6ほか	M2	B	70.0m	III層上部	A1994-37
161201	鹿島塚A遺跡	単独出土	" 請西字道上谷1742ほか	M2	B	50.0m	表土	A1994-38
161301	台木A遺跡	単独出土	" 矢那字台木1527-45ほか	M1	B	150.0m	表土	A1995-34
161401	大畑台遺跡	単独出土	" 請西字遠見1948	M1	B	64.0m	表土	A1996-27
161501	兎谷遺跡	単独出土	" 矢那字兎谷1264-8ほか	M2	B	94.0m	表土	A1996-40
161601	台木B遺跡	単独出土	" 矢那字台木1527-37ほか	M1	B	155.0m	表土	A1996-40
161701	上ノ山B遺跡	単独出土	" 矢那上ノ山1959-1ほか	M2	B	90.0m	表土	A1996-39
161801	林遺跡	単独出土	" 下郡字向高尾2269ほか	M2	B	65.0m	表土	A1999-22
161901	千束台遺跡	単独出土	" 請西字千束台1054-1ほか	M1	B	40.0m	表土	A1997-25
162001	四留作第1古墳群	単独出土	" 笹子笹子犬成笹子両村新田字四留作	M1	B	50.0m	表土	未報告
162101	銭蔵遺跡	単独出土	" 請西字銭蔵2054-2ほか	M1	B	60.0m	表土	未報告
170101	大井戸八木遺跡	単独出土	君津市大井戸字台山1380	K	B	135.0m	表土	A1991-39
180101	岩坂天王台遺跡	単独出土	富津市岩坂	K	B	33.0m	表土	A1982-74
180201	東天王台遺跡	単独出土	" 漢字東天王台850-1	K	B	48.0m	表土	A1984-41
180301	岩井遺跡	単独出土	" 数馬270ほか	K	B	55.0m	表土	A1992-42
180401	前三舟台遺跡	第17 Dヶ	" 前久保字三舟台778ほか	M2	B	42.0m	IIb~IV層	A1992-38,A1995-70,A1996-83
180501	東天王台遺跡	単独出土	" 漢字東天王台850-1	K	B	48.0m	表土	A1998-18
190101	白井市稲荷神社	表探	白井市小名内	M1	A	25.0m	不明	A1972-8
190201	一本桜遺跡	単独出土	" 十余一本桜	M1	A	26.0m	不明	A1976-38
190301	復山谷遺跡	C7 Dヶ	" 復字山谷1320-1	M1	A	21.0m	III層	A1978-21,A1984-70
190302	復山谷遺跡	F7 Dヶ	" 復字山谷1320-1	M1	A	21.0m	III層	A1978-21,A1984-70
190303	復山谷遺跡	G7 Dヶ	" 復字山谷1320-1	M1	A	21.0m	III層	A1978-21,A1984-70
190304	復山谷遺跡	I7 Dヶ	" 復字山谷1320-1	M1	A	21.0m	III層	A1978-21,A1984-70
190305	復山谷遺跡	表探	" 復字山谷1320-1	M1	A	21.0m	表土	A1978-21,A1984-70
190401	白井第一遺跡	O127 Dヶ	" 復字居向1014ほか	M1	A	22.0m	III層	A1978-21,A1984-70
190402	白井第一遺跡	単独出土	" 復字居向1014ほか	M1	A	22.0m	III層直上	A1978-21,A1984-70
190501	復山谷遺跡	WIII直上1	" 復字山谷1321	M1	A	20.0m	III層上面	A1982-18
190502	復山谷遺跡	WIII直上2	" 復字山谷1321	M1	A	20.0m	III層上面	A1982-18

遺跡番号	遺跡名	ブロック名	所在地	地形区分	分水系	標高	層位	文献
190503	復山谷遺跡	WⅢB外	白井市復山谷1321	M1	A	20.0m	不明	A1982-18
190504	復山谷遺跡	EⅢ直上	〃 復山谷1321	M1	A	20.0m	Ⅲ層上面	A1982-18
190505	復山谷遺跡	EⅢ直上外	〃 復山谷1321	M1	A	20.0m	Ⅲ層上面	A1982-18
190506	復山谷遺跡	EⅢ17'ロツク	〃 復山谷1321	M1	A	20.0m	Ⅲ層	A1982-18
190507	復山谷遺跡	E区B外	〃 復山谷1321	M1	A	20.0m	不明	A1982-18
190601	谷田木曾地遺跡	単独出土	〃 谷田字木曾地	M1	A	22.0m	Ⅲ層	A1984-28
190701	神々廻東原遺跡	第27'ロツク	〃 神々廻字東原1903-1	M1	A	20.0m	Ⅲ層上	A1988-38
190801	神々廻宮前遺跡B地点	単独出土	〃 神々廻字宮前1553-2	M1	A	21.0m	不明	A1988-38
190901	向台Ⅱ遺跡	単独出土	〃 平塚字向台420-1	M1	A	22.0m	不明	A1991-34
191001	一本桜南遺跡	第217'ロツク	〃 大字十倉一宇一本桜52-8-3	M1	A	21.0m	Ⅲ層	A1998-29
191002	一本桜南遺跡	第237'ロツク	〃 大字十倉一宇一本桜52-8-3	M1	A	21.0m	Ⅲ層	A1998-29
191003	一本桜南遺跡	第267'ロツク	〃 大字十倉一宇一本桜52-8-3	M1	A	21.0m	Ⅲ層	A1998-29
191004	一本桜南遺跡	第277'ロツク	〃 大字十倉一宇一本桜52-8-3	M1	A	21.0m	Ⅲ層	A1998-29
191005	一本桜南遺跡	単独出土	〃 大字十倉一宇一本桜52-8-3	M1	A	21.0m	不明	A1998-29
200101	櫻峠遺跡	単独出土	印西市浦幡新田櫻峠404	M1	A	22.0m	Ⅱ層	A1974-10
200201	地蔵穴台遺跡	I53地点	〃 草深地蔵穴台1623-1	S	A	25.0m	Ⅱ～Ⅲ層	A1974-10,A1984-70
200202	地蔵穴台遺跡	K49地点	〃 草深地蔵穴台1623-1	S	A	25.0m	Ⅱ～Ⅲ層	A1974-10,A1984-70
200301	木苧峠遺跡	第61エット	〃 浦幡新田木苧峠222	M1	A	24.0m	Ⅲ層	A1975-31,A1984-70,A2000-6
200302	木苧峠遺跡	第91エット	〃 浦幡新田木苧峠222	M1	A	24.0m	Ⅲ層	A1975-31,A1984-70,A2000-6
200303	木苧峠遺跡	第101エット	〃 浦幡新田木苧峠222	M1	A	24.0m	Ⅲ層	A1975-31,A1984-70,A2000-6
200304	木苧峠遺跡	第181エット	〃 浦幡新田木苧峠222	M1	A	24.0m	Ⅲ層	A1975-31,A1984-70,A2000-6
200305	木苧峠遺跡	第211エット	〃 浦幡新田木苧峠222	M1	A	24.0m	Ⅳ層	A1975-31,A1984-70,A2000-6
200306	木苧峠遺跡	第231エット	〃 浦幡新田木苧峠222	M1	A	24.0m	Ⅲ層	A1975-31,A1984-70,A2000-6
200307	木苧峠遺跡	単独出土	〃 浦幡新田木苧峠222	M1	A	24.0m	不明	A1975-31,A1984-70,A2000-6
200401	石道谷津遺跡	第Ⅱ地点	〃 小林字石道谷津1613ほか	S	A	26.0m	Ⅱ層	A1975-31
200402	石道谷津遺跡	単独出土	〃 小林字石道谷津1613ほか	S	A	26.0m	不明	A1975-31
200501	高根北遺跡	単独出土	〃 小倉字大塚前490ほか	M1	A	22.0m	不明	A1976-36,A1984-70
200601	六角遺跡	エット	〃 草深六角7	S	A	24.0m	Ⅳ層	A1976-36
200701	一ノ作遺跡	単独出土	〃 草深696-5ほか	S	A	25.0m	不明	A1976-36
200801	宗南北遺跡	単独出土	〃 別所大山575	S	A	18.0m	不明	A1976-38
200901	泉遺跡	単独出土	〃 鹿黒580-1	S	A	19.0m	不明	A1989-38
201001	泉北側第2遺跡	単独出土	〃 鹿黒550ほか	S	A	24.0m	不明	A1991-43
201101	石頭第2遺跡	第67'ロツク	〃 石頭台1551-1	S	A	25.0m	Ⅲ層	A1999-25
201102	石頭第2遺跡	単独出土	〃 石頭台1551-1	S	A	25.0m	不明	A1999-25
210101	埴生郡街跡推定地	表探	印旛郡栄町竜角寺字台内83ほか	S	A	30.0m	表土	A1987-56
220101	向原遺跡	D00地点	印旛郡本埜村竜腹寺字向原249	S	A	26.0m	Ⅲ上	A1974-10,A1984-70
220102	向原遺跡	E92地点	〃 竜腹寺字向原249	S	A	26.5m	Ⅲ層	A1974-10,A1984-70
220103	向原遺跡	単独出土	〃 竜腹寺字向原249	S	A	26.5m	不明	A1974-10,A1984-70
220201	雨古瀬遺跡	単独出土	〃 大字角田字雨古瀬428	S	A	28.0m	不明	A1976-36,A1984-70
220301	角田台遺跡	石碕集中	〃 角田469ほか	S	A	22.0m	Ⅱ～Ⅲ層	A1984-70
220401	荒ヶ遺跡	単独出土	〃 角田字荒ヶ181ほか	S	A	28.0m	Ⅱc層	A1999-25
230101	松虫丑むぐり遺跡	単独出土	印旛郡印旛村松虫丑むぐり、松虫344	S	A	30.0m	不明	A1974-10
230201	瀬戸蓮遺跡	単独出土	〃 瀬戸502ほか	S	A	29.0m	不明	A1974-10,A1984-70
230301	油作第2遺跡	単独出土	〃 平賀字駒込1301-2ほか	M1	A	26.0m	不明	A1986-92
230401	平賀一ノ台遺跡	エット1	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230402	平賀一ノ台遺跡	エット2	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230403	平賀一ノ台遺跡	エット3	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230404	平賀一ノ台遺跡	エット4	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230405	平賀一ノ台遺跡	エット5	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230406	平賀一ノ台遺跡	エット6	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230407	平賀一ノ台遺跡	エット7	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230408	平賀一ノ台遺跡	エット8	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230409	平賀一ノ台遺跡	エット9	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230410	平賀一ノ台遺跡	エット10	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230411	平賀一ノ台遺跡	エット11	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230412	平賀一ノ台遺跡	エット12	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230413	平賀一ノ台遺跡	エット13	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230414	平賀一ノ台遺跡	エット14	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230415	平賀一ノ台遺跡	エット15	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230416	平賀一ノ台遺跡	エット16	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230417	平賀一ノ台遺跡	エット17	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230418	平賀一ノ台遺跡	エット18	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230419	平賀一ノ台遺跡	エット19	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230420	平賀一ノ台遺跡	エット20	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230421	平賀一ノ台遺跡	エット21	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230422	平賀一ノ台遺跡	エット22	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230423	平賀一ノ台遺跡	エット23	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230424	平賀一ノ台遺跡	エット24	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230425	平賀一ノ台遺跡	エット25	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230426	平賀一ノ台遺跡	エット26	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230427	平賀一ノ台遺跡	エット27	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230428	平賀一ノ台遺跡	エット28	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230429	平賀一ノ台遺跡	エット29	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230430	平賀一ノ台遺跡	エット30	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230431	平賀一ノ台遺跡	エット31	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230432	平賀一ノ台遺跡	エット32	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230433	平賀一ノ台遺跡	エット33	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230434	平賀一ノ台遺跡	エット34	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230435	平賀一ノ台遺跡	エット35	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7
230436	平賀一ノ台遺跡	エット36	〃 平賀字一ノ台1786ほか	M1	A	24.5m	Ⅲ層	A1986-92,A1990-7